

MORE WILSON

2011
WILSON
FREE
MAGAZINE



australian open
The Grand Slam of Asia Pacific

US OPEN & Australian Open
Official Ball & Stringer

Roger Federer

勝ち方、負け方から見てくる
フェデラーの強さ、
真価に迫る

遂に本格始動!

錦織 圭

世界獲りへのシナリオ

Nishikori

Player's Story

Tatsuma Ito
Justine Henin
Serena & Venus Williams
Ernesto Gulbis
Flavia Pennetta

Grigor Dimitrov
Alexandr Dolgopopolov
Milos Raonic
Petra Martic
Julia Goerges



WILSON LEGEND
レジェンドを支えたWilsonの名器たち

選手が求める 究極のフィーリング
LUXILON™ Technology

ツアー使用率 No.1!!
ルキシロンが支持される、その理由



大学テニス同好会・サークルのミス
ミス・Wilson大集合!



Miss W

WILSON NEW PRODUCTS GUIDE

Racket/String/Grip/Ball/Footwear/
Bag/Accessory/Starter Tennis/Supporter/
Glove/Team Wear/Apparel Accessory

Wilson
MORE WIN.

Wilson
MORE WIN.™

CONTENTS

- p4 Wilson History
- p6 Racket Technology
- p10 Special Interview Risako Miura
- p12 Racket
- p20 Next Generation
- p22 Roger Federer Story
- p28 Justine Henin Story
- p30 Kei Nishikori Story
- p32 Tatsuma Ito Story
- p34 Special Talk Takeshi Konomi Kei Nishikori
- p40 Ernests Gulbis & Flavia Pennetta Story
- p42 Serena & Venus Williams Story
- p45 Special Talk Norikazu Sugiyama Yuumi Miyazaki
- p48 Stringing Story
- p50 LUXILON
- p57 Wilson String
- p60 Grip
- p63 Bag
- p74 Pink Ribbon Ladies Tennis Tournament
- p75 Ball
- p78 Starter Tennis
- p80 Accessory
- p82 Supporter
- p83 Glove
- p84 Miss.W
- p86 Apparel Story
- p88 Team Wear
- p92 Apparel Accessory
- p94 Footwear

総合監修 アメア スポーツ ジャパン株式会社
製作 日本文化出版株式会社
デザイン 株式会社ワタインク

本カタログの記事に関しては Tennis Classic Break 4月号より抜粋
The article of this catalog is excerpted from Tennis Classic Break April issue.



A person's hand is visible on the left side of the frame, holding a brown clipboard. The background is a tennis court with a green hedge and a net. The sky is a clear, light blue. The text 'MORE WIN' is overlaid in large, white, bold letters.

MORE WIN

2011年、ウイルソンの主調は MORE。

2011年、ウイルソンは宣言します。「すべてのアスリートに多くの勝利、多くの喜び、多くの感動、そして多くの興奮をもたらすために、より強い、より速い、より熱いギアを提案します。」

Wilson

レジェンドを支えた ウイルソンの名器たち

グランドスラム・タイトル獲得数 No.1 の実力

コナーズ、マッケンロー、エドバーグ、サンブラス、そしてフェデラー…。時代を飾り、今日のテニス界を築き上げてきた名選手たち。彼らは自らのポテンシャルを最大限引き出し、最高のパフォーマンスを演出するため、その時代における最高のラケットを探し求める。そして、そんな彼らに選ばれ、共に時代を築き上げてきたのがウイルソンのラケットだ。

1916年、テニスラケット製造開始以来、トップ選手が求める名器を生み出し、時代の名選手と栄光をともにする一方で、“ウルトラ PWS”、“パワーホール”などの革新的機能を開発。さらに世界初の厚ラケ“プロファイル”を世に打ち出し、“グラファイト”、“ハイパー・カーボン”、“nCode”、“カロファイト・ブラッ

ク”、そして“バサルト・ファイバー”などテニスラケットに最先端の素材を取り入れることでウイルソンのラケットは進化してきた。

このようなたゆまぬ開発精神、先進性が生み出す性能の高さがトップ選手に認められ、ツアーにおけるウイルソンラケットの使用者数、グランドスラム・タイトル獲得数でNo.1を獲得。また、「アベレージプレーヤーに最善の用具を提供する」というウイルソンの基本理念に沿い、常に一般プレーヤーを対象としたテクノロジーを開発し、その努力によって、全世界におけるラケット販売数（一般プレーヤーの愛用者数）もトップを保持している。

ウイルソンの歴史を築いてきたレジェンドたち

PETE SAMPRAS

ピート・サンブラス

Grand Slam Title: 14

デビュー前から「プロスタッフ・ミッド」を愛用。最強の名をほしいままにした。



SERENE WILLIAMS

セリーナ・ウィリアムズ

Grand Slam Title: 13



ROGER FEDERER

ロジャー・フェデラー

Grand Slam Title: 16

サンブラスの持つ男子グランドスラム最多優勝記録14を更新。史上最強のプレーヤーとしてツアーをけん引している。



VENUS WILLIAMS

ヴィーナス・ウィリアムズ

Grand Slam Title: 7



JUSTINE HENIN

ジャスティン・エナン

Grand Slam Title: 7

いつの時代も名プレーヤーたちが
手にしていたのはウイルソン。
彼らによって紡がれてきたウイルソンのDNAは、
未来のレジェンドへと受け継がれていく。

名プレーヤー×ウイルソン=∞

数あるウイルソンラケットの中でも大きな進化のきっかけとなったのは、1967年に誕生した『T-2000』と言えよう。それまでテニスラケットはウッド(木)素材で作られているものがほとんどだったが、スチールという新素材に注目し生み出されたのがこの『T-2000』。コナーズはこのモデルを武器に、パワフルでスピーディーなテニスを展開し、時代の寵児となった。その後、1978年にはカーボングラファイトをラケット素材として初めて採用し、1983年には『プロスタッフ・ミッド』を発表。コナーズ、エバート、エドバーグ、サンプラスをはじめとしたトップ選手がこぞって手にし、時代を築いた。

一方でよりパワフルでやさしいラケットを求め、1987年には

厚ラケ『プロファイル』を発表。圧倒的なパワーと広いスイートエリアで世界を驚嘆させ、さらに1990年には超軽量・トップウエイト設計の“ハンマー・システム”を開発。この機能を搭載したモデルは、一般プレーヤーはもちろん、トップ選手にも高い支持を受け、現在の超軽量ラケットに採用される重要なテクノロジーとなっている。

そうして時代を飾ったトップ選手とともに、数々の栄光を手中に収めてきたウイルソン。選手から絶大な支持を受ける革新のDNAは、フェデラー、デルポトロ、錦織などのトップ選手たちによって現在も脈々と受け継がれ、そしてニュージェネレーションによって、これから先も新たな伝説が築かれていくだろう。



JIMMY CONNORS

ジミー・コナーズ

Grand Slam Title : 8

木製ラケットが主流の時代に、スチール製『T-2000』を武器に数々のタイトルを奪取。その『T-2000』に続く『プロスタッフ・ミッド』はコナーズのために開発された。

CHRIS EVERT

クリス・エバート

Grand Slam Title : 18

デビューから引退までの19年間で、常にトップ3に君臨したエバートが愛用したラケットもウイルソンだった。



STEFFI GRAF

シュテフィ・グラフ

Grand Slam Title : 22

テニス史に燦然と輝く名プレーヤー。記録、テニスに対する姿勢を振り返っても、グラフこそ女王の名にふさわしい。



STEFAN EDBERG

ステファン・エドバーグ

Grand Slam Title : 6

華麗なサーブ&ボレー、美しいバックハンドで多くのファンを魅了したエドバーグ。愛用したのは永遠の名器『プロスタッフ・ミッド』。

JOHN MCENROE

ジョン・マッケンロー

Grand Slam Title : 7

1977年、ウイルソンのラケットを手に初めてウインブルドンに挑戦したマッケンローは、予選から勝ち上がりベスト4という衝撃的なデビューを果たした。

Racket Technology

選手が求める

究極のフィーリング = BLX™

パワー、コントロールは手に入れた。しかし、現代の高度化したテニスで勝つにはそれだけでは足りない。そこでウイルソンが出した解答が、フィーリングを生かすニューテクノロジー『BLX』だ。

素材開発のパイオニア、ウイルソン

ラケット開発の歴史に欠かせないのが、素材の進化。かつて木製だったラケットは、1967年にスチール製が登場し、1978年にはカーボングラフィイトを採用したモデルが登場。以降、ラケット素材はめまぐるしい進化をたどり始めたが、それらの新素材を初めて採用し、現在のラケット進化の潮流を作ったのはウイルソンだ。

その後もウイルソンは新素材を次々に開発し、ラケット開発のパイオニアとしてテニス界をけん引。1998年には硬さ、強度、比重などラケット素材として大切な要素を大幅に向上させた宇宙素材「ハイパー・カーボン」を、2004

年にはカーボン繊維の間にシリコン・オキサイドをナノテクノロジーで配置し、硬度と耐久性を著しく向上させた「nCode」を開発した。さらに2007年にはカーボンとシリコン・オキサイドをカーボンブラックナノファイバーで結合し、面安定性を高めパワーとコントロールを向上させた「[K] AROPHITE BLACK」を発表。パワーとコントロールを最高次元で融合させたラケットを生み出した。

そしてパワーとコントロールを極めたウイルソンが、「次世代のラケットのために必要な要素」として導き出した答えが「フィーリング」だ。

フェデラーも「パワーとコントロールには満足している。でも、それはラケットのせいではないかもしれないが、フィーリングを感じ取りにくいことがあるんだ。ボールの感触、コートの感触、相手の息遣い。僕はコート上ですべてを感じ取りたいんだ」と、その重要性をコメント。錦織圭も「小さいころからパワーのあるウイルソンが好きでした。ただ、もう少し衝撃が緩和されれば、そのフィーリングがより明確で正確になると思うんです。それは戦ううえで大事なことだと思います」と、フィーリングを生かしてくれるラケットの必要性を話している。

極上のフィーリングを生み出す〈BASALT FIBER〉

そのようなフィーリングをラケットにもたらすための要素として、ウイルソンが重視したのが、

- ① VIBRATION (手に伝わる衝撃・振動)
 - ② SOUND (耳に伝わる音)
 - ③ FLEX (感じる“しなり”)
- の3要素。

それらの要素を満たすために、ウイルソンが開発したのがニューテクノロジー『BLX』だ。

『BLX』は、〈BASALT FIBER(バサルト・ファイバー)〉を表す『BL』と“掛ける”を意味する『X』の2要素が合わさった言葉。前者の〈BASALT FIBER〉とは火口付近に現存する玄武岩〈BASALT〉を1500度の高熱で融解し生み出したファイバー。このバサルト・ファイバーは、①衝撃・振動をスムーズにする ②遮音性が高い ③軽量で、剛性が高い という特徴があり、これを【K】 AROPHITE BLACKに織り込むこと

で、パワー、コントロール、フィーリングの3者を融合させた素材となったのだ。

一方後者の『X』とは、“掛ける”を表す“×”のこと。つまり、バサルト・ファイバーとフレーム・テクノロジーやグロメット・デザインなど、ウイルソンの最新テクノロジーと掛け合わせる、という意味で、これによって感性を生かすテクノロジーを生み出すことに成功しているのだ。

BASALT FIBER

バサルト・ファイバーは衝撃・振動をスムーズな信号に変える。遮音性が高く、軽量で安定性能が高いなどの特性を持つ。



火口付近に現存する玄武岩

融解



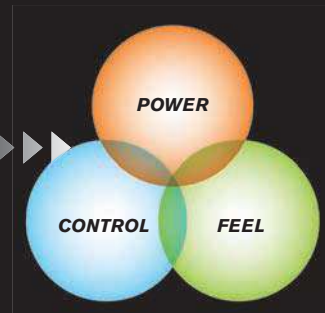
※イメージ画像

玄武岩を1500度の高熱で融解し、生み出したファイバーをバサルト・ファイバーという。

配合



BASALT FIBER + 【K】 AROPHITE BLACKの組織モデル図



POWER、FEEL、CONTROLを兼ね備えた素材が完成

FRAME TECHNOLOGY

LINEAR-GEOMETRY



フレーム平面 (ストリングス面と平行面) を平らにすることで、約 35% 安定性を高めます。

FX



ヨーク部分に孔を設計することで、フレーム表面積が拡大され、約 23% 安定性を高めます。

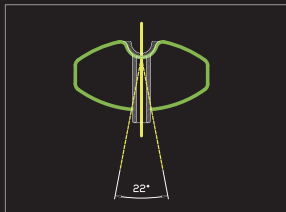
TRIAD



ラケットのハンドル部分を切り離し、衝撃吸収材で接合することで、約 60% 快適性能が高まります。

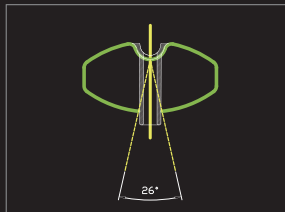
GROMMET DESIGN

CLASSIC



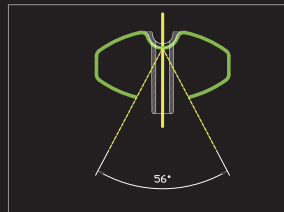
通常グロメット (直径 3.5mm) で、打球時のストリングス可動域は 22 度。

DOUBLE HOLE



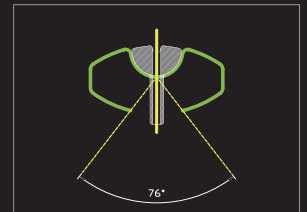
直径 4.2mm のグロメットホールのごとく、打球時のストリングス可動域は 26 度。

POWER HOLE



98 年に開発された 1.0cm 幅グロメットホール。打球時のストリングス可動域は 56 度。

A・G・T



POWER HOLE よりも支点がフレーム内側にあるため、打球時のストリングス可動域 76 度。

STRINGS PATTERN & FACE DESIGN

FAN STRINGS PATTERN

ファン・ストリングス・パターン

ラケットヘッドよりになるほどに、ストリングスの目が広がるようにデザインされたテクノロジー。これにより、本来ほとんど動かないラケットヘッド部分のストリングスの「たわみ」を可能にし、スウィートスポットを拡大する。



SLEDGE

スレッジ

フェイスのデザインを扇型にすることで、スウィートスポットを + 約 48% 拡大するテクノロジー

CIERZO TWO
に採用



SLOVAL

スローバル

フェイスサイズを滑らかな扇型にすることで、スウィートスポットを + 約 25% 拡大するテクノロジー。

TEMPEST FOUR
に採用

SHAFT



X LOOP

エックス・ループ

ラケット・ヘッド部とスロート部をねじれた形状に設計することで、打球時のブレを抑制し、正確な「内転方向へのひねり」を再現します。

⇒コントロール性能の向上

⇒パワーロスの軽減



この「ひねり」がラケットの「しなり」と共に復元することにより、「うねり」と呼ぶのにふさわしい「トルネードパワー」に変化し、高速飛行する打球を可能にします。

ATP/WTA トップ 100 のウイルソン・プレーヤーの約 40% が選ぶ理由がそこにあります。

BLADEファミリーに採用

2011 WILSON BLX CHART

競技レベル、パワー、コントロール性能で見つかる、
あなたのベスト BLX。

【MAP の見方】

- ① 縦軸に沿っておおよそご自身のレベルを見つける。
- ② 横軸に沿って、好みのパワー量とコントロール性能を選ぶ。
(左に行くほどパワー&コントロール性能が高く、右に行くほどパワーが抑えられ、スウィートスポットが小さい)
- ③ その縦軸、横軸が交差する周辺のラケットを見つける。
- ④ 実際にテストして、最適なラケットを見つけてください。

例：初心者でもソフトテニスなどの経験がある場合は、右下のエリア。
上級者でも、ライバルと差をつけたいときは左下のラケットを。
B級からA級にステップアップしたいときは、選んだラケットの右上のラケットをお選びください。



HIGH POWER & CONTROL

大きなパワーと
大きなスウィートスポット



SERIOUS SPEC

プレーヤーモデル



TOUR BLX 95



TOUR BLX 105



SURGE BLX 100



TIDAL FORCE BLX 105

BEGINNER SPEC

初心者モデル



CIERZO TWO BLX 120



STRATUS THREE BLX 115



TEMPEST FOUR BLX 110



CORAL REEF BLX 110



CIRRUS ONE BLX 118



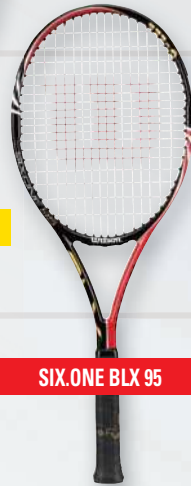
TOUR LIMITED BLX 95



PRO COBRA BLX 100



PRO TOUR BLX 96



SIX.ONE BLX 95



SIX.ONE TOUR BLX 90



BLADE TOUR BLX 93



PRO OPEN BLX 100



BLADE 98 BLX



BLADE TEAM BLX 104



BLADE LITE BLX 100



PRO LITE BLX 102

LOW POWER
& ACCURATE CONTROL

小さなパワーと
小さなスイートスポット



MEDIUM POWER



LOW POWER

「テニスは楽しみながら、
たつぷり汗をかけるところが
好きです」

三浦りさ子

Risako Miura

相手のいないところに
打つのが得意！

数々の人気ファッション誌でモデルとして活躍し、健康的な美しさだけでなく、その自然体のライフスタイルが若い主婦層を中心に高い支持を受けている三浦さん。自分自身を“体育会系”というほどスポーツ大好きで、かつてはテニスを雪が降っているときでもするほど楽しんでいたという。

「テニスは学生時代からやっていましたが、集中的にやっていたのは今から7年ぐらい前の神戸に住んでいたころですね。子どもが幼稚園に行っている間、お母さんたちで集まって、毎週コートをとってやっていました。私は学生時代バレーボール部だったので、相手のいないところにボールを打つのが得意だったんですよ。それに、相手を左右に振りまわしたり、フェイントをかけたり。強いボールを打つのではなく、そういう方法で点を取るテニスなので、よくみんなに“ずるい”と言われていました(笑)」。

人気ファッション誌のモデルとして活躍し、若い主婦を中心にカリスマ的な人気を誇る三浦りさ子さん。「テニスは学生時代から楽しんでいた」と話す三浦さんが思う、テニスの魅力、楽しみ方、好きなテニスファッション、気になる選手などについて聞いてみた。



「かわいい!」と新作モデルに興味津津。

その後、夫・三浦知良さんのチーム移籍で東京に。モデルとして、妻として、2児の母として多忙な毎日を送る中で、「運動がしたい」と再びテニスを始めることとなった。

「このころは、自宅近くのスクールに入会し、週に1回ぐらい通っていました。中級ぐらいのクラスで、スクールのみなさんと一緒に楽しんでいましたね。バレーボールは人数が集まらないといけなくて、なかなかできるチャンスがないし、ただ走るだけの運動は好きではないんです。そういったときに楽しく体を動かして汗をたっぷりかけるスポーツって、やっぱりテニスだったので。下の子どもも、同じスクールに通わせていました」。

そんな三浦さんは、自分でプレーするだけではなく試合を見ることも好きで、やはり気になるプレーヤーは錦織圭。「錦織選手ってジャンプしながら打ったり、見ていてすごい楽しいし、かっこいいですよ。テレビで錦織選手が出ると、つい見ちゃいます。ほんとに期待しているので、頑張ってもらいたいです!」。

ウェアをちょっと着崩して遊ぶのが三浦さん流

三浦さんの大きな魅力の一つは、何と云っても健康的で美しいスタイル。その美しさを保つ秘訣はどこにあるのだろうか?

「わたしの場合、やっぱり運動が大切ですね。しかも楽しみながらやること。短い期間でハードにやるのではなく、長くゆっくり続けることが大事だと思っています。そして、それにはテニスはすごくいいですね。もちろんテニスをはじめとしたスポーツだけではなく、自分自身が長く続けられる運動であれば、それが最適だと思います」。

そして、「三浦さんとテニス」と言えば、気になるのはテニスのときのファッション。カリスマとして絶大な人気を誇る三浦さんとあれば、おしゃれなテニスウェアを着てプレーしているのかと思うと、「もともと体育会なので、テニスのときに着るのは動きやすいスウェットが多いですね。そのスウェットを、少し色で

遊んだりして気崩するのが好きです」。とあくまで自然体。無理をしない自分らしさの中に、少しエッセンスを加える遊び心が、三浦さんの美しさの秘訣なのだろう。

家族でテニスをするのが夢

インタビューでウイルソンの新しいラケットを手にして「かわいい! 私もウイルソンを使っていました」とラケットに興味津津の三浦さんは、最近ラケットを振っていないという。「最近次男が本格的にサッカーを始めたこともあり、今はテニスをちょっとお休み中なんです。でも久しぶりにラケットを持って、またテニスへの気持が湧いてきました。子どももテニスをやっていたし、主人とも昔たまにやっていたので、家族でテニスをするのが夢ですね。主人はけがしたら大変ですし、子どもは今サッカーなどに夢中なので、今すぐにはできませんが、これから先の楽しみとして取っておきたいです」。

ナチュラルな雰囲気が魅力の三浦さん。テニスの楽しみ方も自然体だ。



みうら・りさこ

米ニューヨーク生まれ。神奈川県藤沢市で育つ。玉川大学文学部教育学科卒。1986年JALのキャンペーンガールでデビュー。その後、ファッション誌「JJ」「VERY」の専属モデルとして活動。数多くの雑誌、テレビ番組、CMに出演中。自らデザインを手がけるオリジナルアクセサリーブランド「R0113」も好評。夫はプロサッカー選手・三浦知良さん。2児の母でもある。

MORE COMFORT
Racket

MORE COMFORT

一般プレーヤーにより強い、より速いボールで、
より楽しく、より長くテニスをプレーして頂くために、
ウイルソンの持つテクノロジーを
余すところなく注ぎ込んだカテゴリー

CIRRUS ONE BLX 118
CIERZO TWO BLX 120
STRATUS THREE BLX 115
TEMPEST FOUR BLX 110
CORAL REEF BLX 110

MORE COMFORT Racket



DOUBLE HOLE

AGT

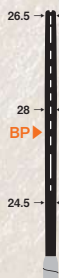
DOUBLE HOLE

LINER GEOMETRY

FX



裏 表



パワー、コントロール性能を備えながら、操作性アップのためのウェイト&バランスを持つハイスベックモデル。「テニスってこんなにも簡単だったか」というインプレッションを実感できる、究極進化系厚ラケ。

CIRRUS ONE BLX 118

シラス・ワン・ビー・エル・エックス 118

¥44,100 (本体価格 ¥42,000)

G1: WRT7030201

G3: WRT7030203

G2: WRT7030202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: デュアル・テイバー・ビーム
- スtring・パターン: 16×19
- 使用グリップ: COMFORT HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	1 / High
フェイス面積 / レングス	118sq.inch / 27.5inch	Av. ウェイト / Av. バランス	261.5g / 36.2cm
フレーム厚	26.5-28-24.5mm	推奨(適正)テンション	45-55 (55-65)P

MORE COMFORT Racket

FAN STRINGS PATTERN

DOUBLE HOLE

AGT

SLEDGE

DOUBLE HOLE

LINER GEOMETRY



あらゆる攻撃を迎え撃ち、更なる攻撃を可能にする超攻撃型ハイスペックモデル。なじみの少ないスレッジ形状は、使った者にしか味わえない、「ゲームを支配できる」インプレッションを実感できます。

CIERZO TWO BLX 120

シエルゾ・ツー・ビー・エル・エックス 120

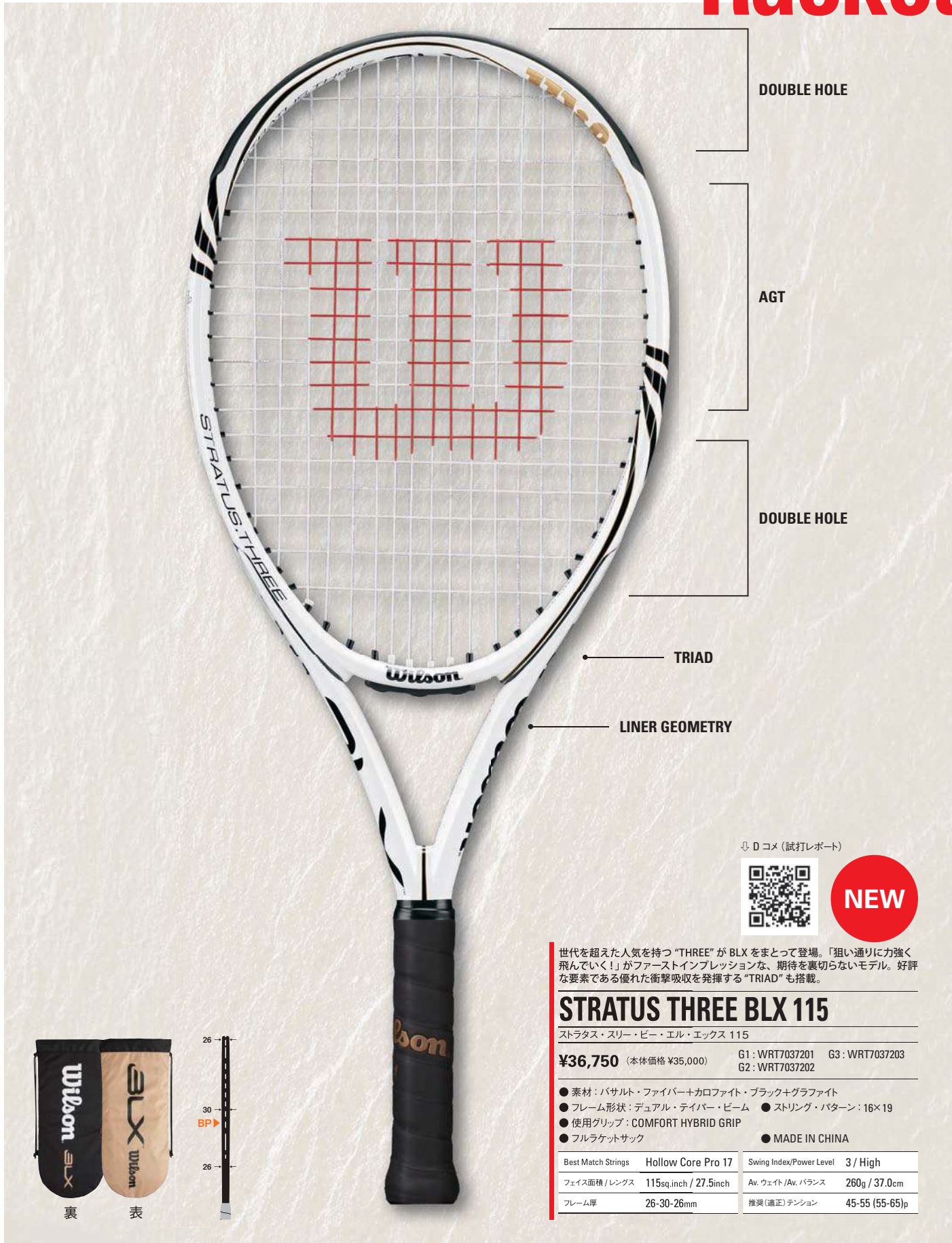
¥39,900 (本体価格 ¥38,000)

G1 : WRT7036201 G3 : WRT7036203
G2 : WRT7036202

- 素材：バサルト・ファイバー+カロファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状：デュアル・テイバー・ビーム
- スtring・パターン：16×19
- 使用グリップ：COMFORT HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	2 / High
フェイス面積/レングス	120sq.inch / 27.9inch	Av. ウェイト / Av. バランス	259g / 37.0cm
フレーム厚	26-29-27mm	推奨(適正)テンション	45-55 (55-65)P

MORE COMFORT Racket



DOUBLE HOLE

AGT

DOUBLE HOLE

TRIAD

LINER GEOMETRY

↓ D コメ (試打レポート)



世代を超えた人気を持つ“THREE”がBLXをまもって登場。「狙い通りに力強く飛んでいく！」がファーストインプレッションな、期待を裏切らないモデル。好評な要素である優れた衝撃吸収を發揮する“TRIAD”も搭載。

STRATUS THREE BLX 115

ストラタス・スリー・ビー・エル・エックス 115

¥36,750 (本体価格 ¥35,000)

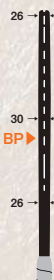
G1 : WRT7037201 G3 : WRT7037203
G2 : WRT7037202

- 素材 : バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状 : デュアル・テイバー・ビーム
- スtring・パターン : 16×19
- 使用グリップ : COMFORT HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	3 / High
フェイス面積 / レングス	115sq.inch / 27.5inch	Av. ウェイト / Av. バランス	260g / 37.0cm
フレーム厚	26-30-26mm	推奨(適正)テンション	45-55 (55-65)lb



裏 表



MORE COMFORT Racket

FAN STRINGS PATTERN

SLOVAL

DOUBLE HOLE

LINER GEOMETRY



軽量ながら重厚なフィーリングを発揮する絶妙なウェイトとバランス。「イメージ」と「結果」のズレが少ない」というインプレッションを与え、スピン系プレーヤーも、フラット系プレーヤーも能力UPさせる1本です。

TEMPEST FOUR BLX 110

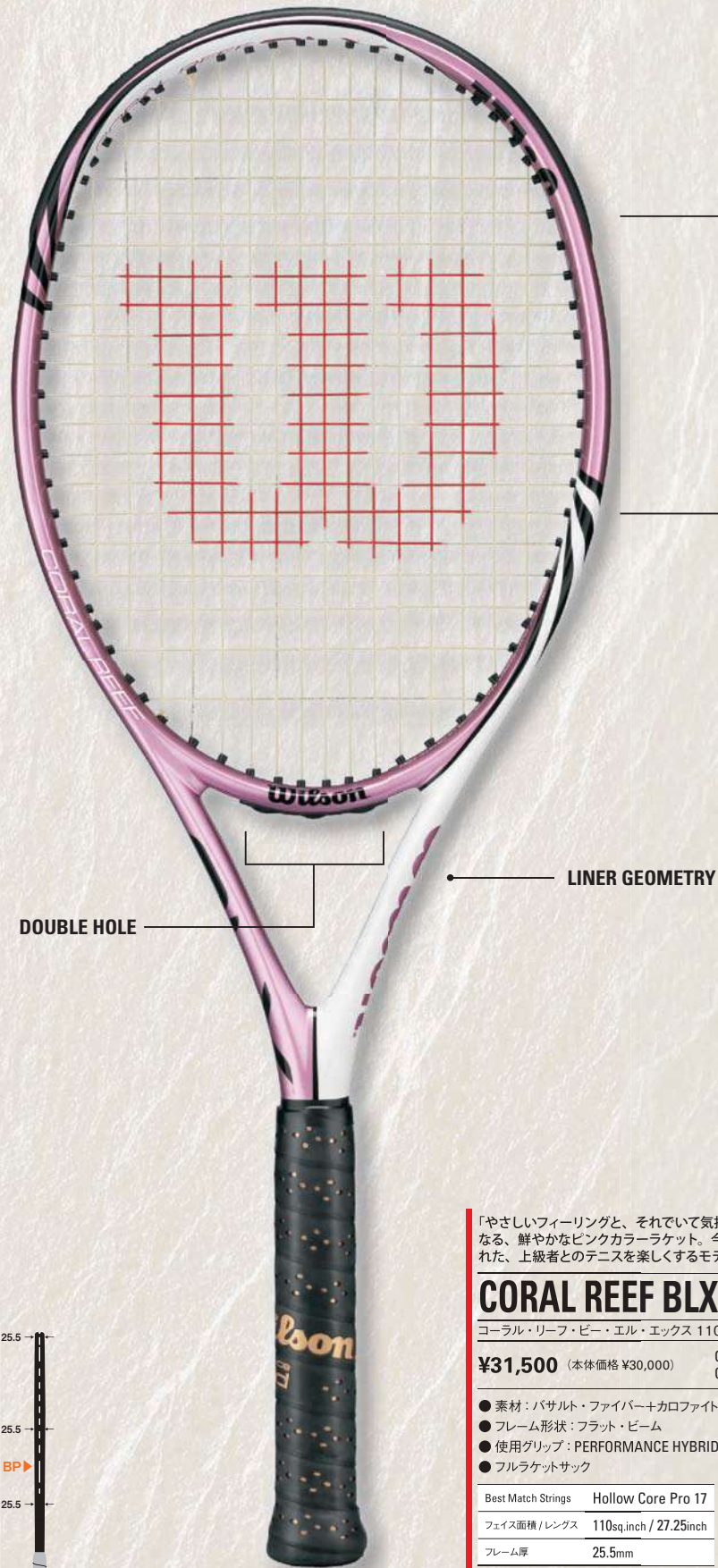
テンペスト・フォー・ビー・エル・エックス 110

¥33,600 (本体価格 ¥32,000)

G1 : WRT7038201 G3 : WRT7038203
G2 : WRT7038202

- 素材：バサルト・ファイバー+カロファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状：デュアル・テイバー・ビーム
- スtring・パターン：16×20
- 使用グリップ：COMFORT HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	4 / High
フェイス面積/レンガ	110sq.inch / 27.25inch	Av. ウェイト / Av. バランス	230g / 38.0cm
フレーム厚	24.5-28-25mm	推奨(適正)テンション	45-55 (55-65)P



AGT

LINER GEOMETRY

DOUBLE HOLE

↓ D コメ (試打レポート)



「やさしいフィーリングと、それでいて気持ち良い弾き感」がインプレッションとなる、鮮やかなピンクカラーラケット。今のレベルを1段階上げるために開発された、上級者とのテニスを楽しむモデル。

CORAL REEF BLX 110

コーラル・リーフ・ビー・エル・エックス 110

¥31,500 (本体価格 ¥30,000)

G1: WRT7040201
G2: WRT7040202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: フラット・ビーム
- スtring・パターン: 16×19
- 使用グリップ: PERFORMANCE HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	5 / Medium
フェイス面積 / レングス	110sq.inch / 27.25inch	Av. ウェイト / Av. バランス	263g / 33.0cm
フレーム厚	25.5mm	推奨(適正)テンション	45-55 (55-65)p



裏 表



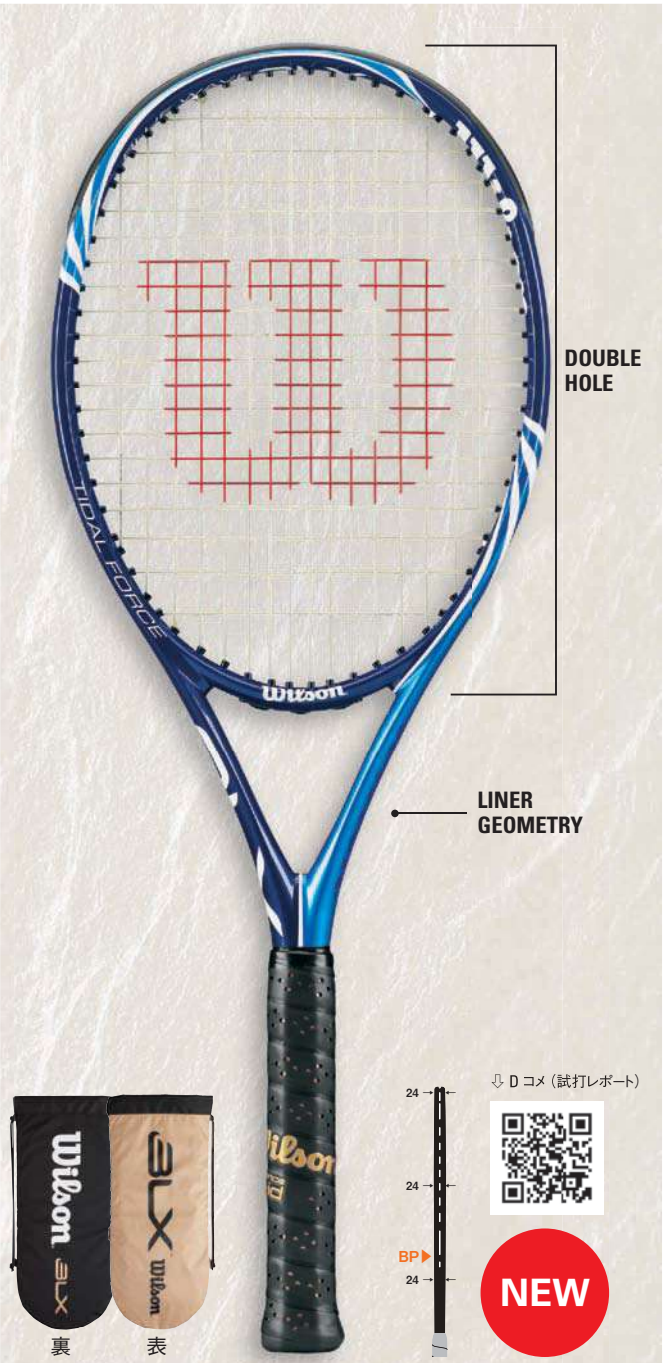
Racket

MORE VALUE

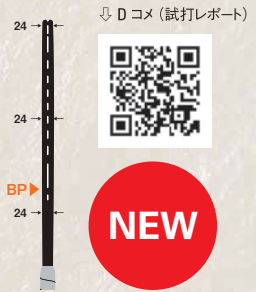
MORE VALUE

一般プレーヤーにより楽しく、より気軽に
テニスをプレーして頂くために、
最新テクノロジーを搭載しつつ、
オーソドックスなスペックに仕上げたカテゴリー。
お求めやすいプライスでの提案です。

TIDAL FORCE BLX 105
SURGE BLX 100



裏 表



多くの初心者「ラリーが出来る!」とインプレッションした、テニスを楽しむためのモデル。あえて飛びを抑えることで、コントロール能力を補い、軽快な体感重量とクリアなフィーリングがテニスを楽しめます。

TIDAL FORCE BLX 105

タイダル・フォース・ビー・エル・エックス 105

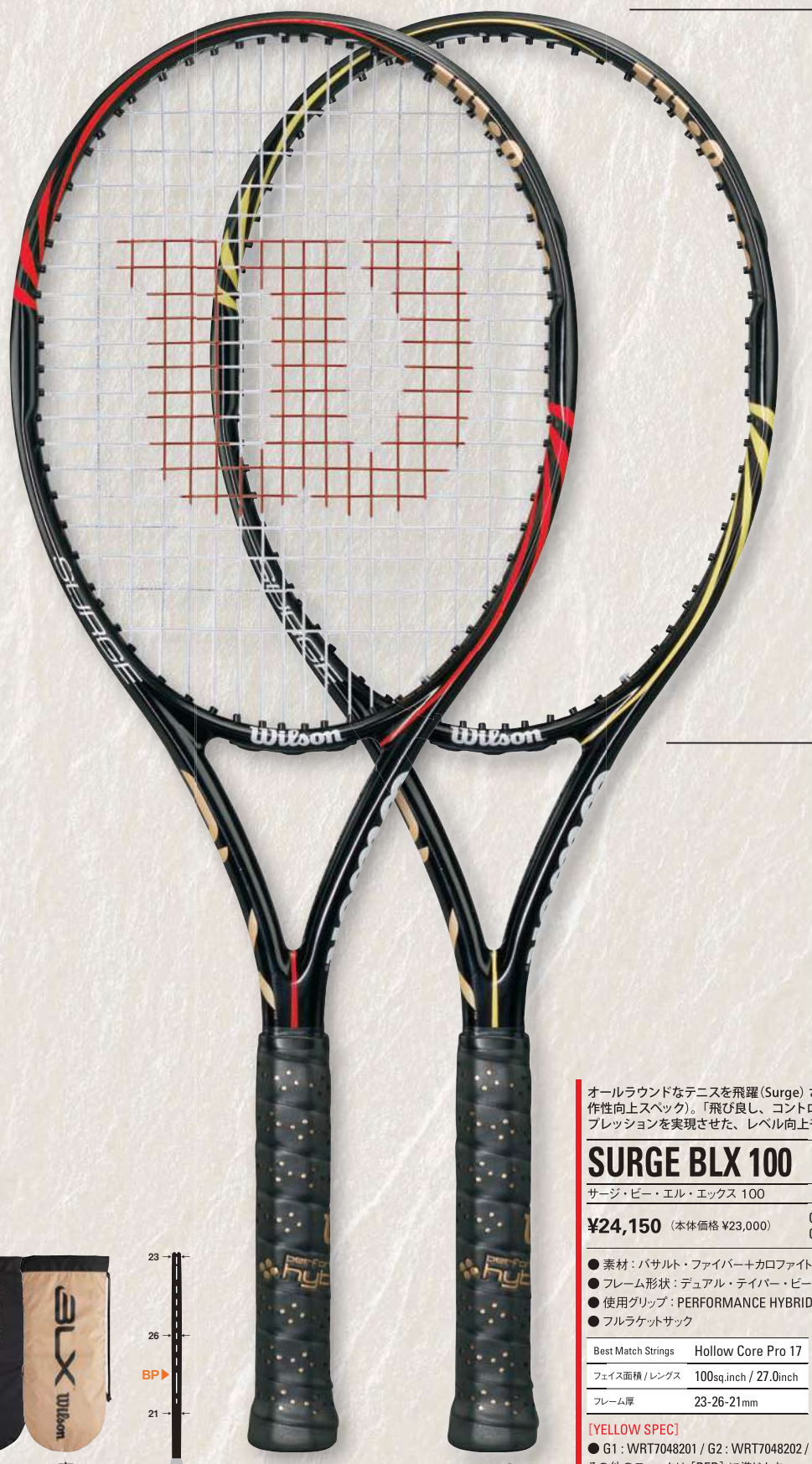
¥22,050 (本体価格 ¥21,000)

G1: WRT7039201
G2: WRT7039202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボナイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: フラット・ビーム
- スtringing・パターン: 16×19
- 使用グリップ: PERFORMANCE HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	5 / Medium
フェイス面積 / レングス	105sq.inch / 27.25inch	Av. ウェイト / Av. バランス	264g / 32.0cm
フレーム厚	24mm	推奨(適正)テンション	45-55 (53-63)P

MORE VALUE Racket



DOUBLE HOLE

↓ D コメ (試打レポート)



オールラウンドなテニスを飛躍(Surge)させる“プラチナスペック”モデル(操作性向上スペック)。「飛び出し、コントロール良好、フィーリング良好」のインプレッションを実現させた、レベル向上モデル。

SURGE BLX 100

サージ・ビー・エル・エックス 100

¥24,150 (本体価格 ¥23,000) G1 : WRT7047201 G3 : WRT7047203
G2 : WRT7047202

- 素材 : バサルト・ファイバー+カロファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状 : デュアル・テイバー・ビーム ● スtring・パターン : 16×19
- 使用グリップ : PERFORMANCE HYBRID GRIP
- フルラケットサック ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	5 / Medium
フェイス面積 / レングス	100sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	279g / 33.0cm
フレーム厚	23-26-21mm	推奨(適正)テンション	45-55 (53-63)lb

[YELLOW SPEC]

- G1 : WRT7048201 / G2 : WRT7048202 / G3 : WRT7048203
- その他のスペックは [RED] に準じます。



RED

YELLOW

Next Generation



Grigor 
Dimitrov

MORE
RISE

雌伏期間を経て ついに本領発揮しだした フェデラー型天才ディミトロフ

使用ラケット
SIX.ONE TOUR BLX

『このままでは振り遅れるのでは?』と思うほどインパクトギリギリまでラケットヘッドが後ろに残り、そこから強烈にラケットヘッドが回ってきたかと思うと、右腕が体に巻きつくくらい鋭くしなやかにフォロースルーしていくフォアハンド。インパクト後、『右肩の関節が外れているのでは?』と思えるくらい右腕を背中側に振り抜いていく片手バックハンド。と書くと、<フェデラーのことだな>と思う方がほとんどだろう。しかし、ここで紹介するのは、ブルガリアのディミトロフ。

08年にウィンブルドン・ジュニアとU.S.オープン・ジュニアで優勝したところからテニスコーチなどの関係者の間では評価が高かったのだが、その後はヒザのケガに悩まされ、チャレンジャー大会でも1回戦負けが続くなど、なかなか結果がついてこなかった。しかし、誰もがそのプレーを見るとフェデラーを思い浮かべてしまうほどスイングやショットの軌道がフェデ

ラーとそっくりのディミトロフの才能が、そんなところでとどまっているはずはなかった。

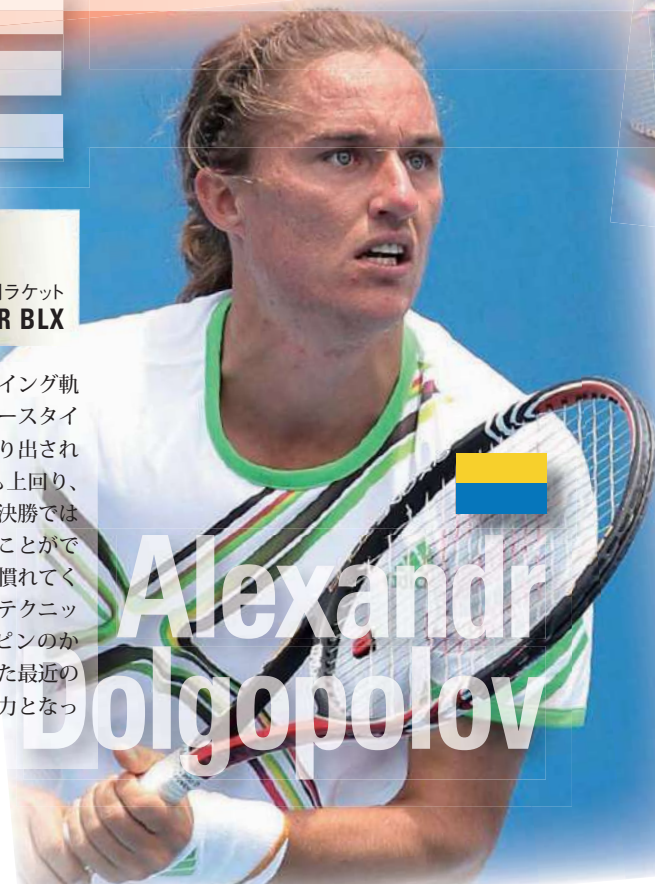
そのポテンシャルの高さが結果として明白に見えてきたのは、昨年8月。ジェノバ・チャレンジャーでチャレンジャー大会初優勝を飾ると、続くバンコクでのチャレンジャー2大会でも優勝。一度波に乗ると手をつけられなくなる、将来トップを狙える選手ならではの快進撃でランキングを一気に100番近く上げたのだ。そして臨んだ今年のオーストラリアンオープン。その才能は確かに本物で、予選3回戦をクリアすると本戦1回戦も勝ち、2回戦まで進出。ここではグランドスラムでの試合の進め方に一日の長があるワウリンカに敗れたものの、ラリーを見ているだけではディミトロフのほうがショットのクオリティーは上。これからATPツアーやグランドスラムの経験を積んでいけば、今年の年末にはランキングでトップ30に入るのも夢ではないはずだ。

マジシャンのような多彩なプレー テニスの面白さを 再認識させてくれるドルゴポロフ

使用ラケット
SIX.ONE TOUR BLX

『テニスというのは、面白いスポーツなんだ』と改めて感じさせてくれる選手が、ついにグランドスラムで結果を出し始めた。その選手の名は、ドルゴポロフ。父がメドベテフのコーチをしていたため、「小さいころは父についてATPツアーを回っていた」というドルゴポロフは、昨年のフレンチオープンで3回戦まで進出しているが、当時はそれほど注目されていなかった。しかし、11年最初のグランドスラム、オーストラリアンオープンではツォンガ、ソダーリンを破りベスト8に進出。その特異な経歴と、全身のバネを使った超クイックモーションのサー

ブ、そしてストロークを打つときのスイング軌道が1球ごとに違うという独特のプレースタイルで観客を魅了。そのスイングから繰り出されるショットの多彩さはフェデラーをも上回り、まるでマジックを見ているよう。準々決勝ではマレーの鉄壁の守りをあと少しで崩すことができなかったが、高いレベルのテニスに慣れてくれば、さらに高い次元でマジシャン・テクニクを見せてくれるはず。しっかりスピンのかかった力強いラリーの展開が多くなった最近のテニス界に、新しい風を吹き込む新勢力となってくれるだろう。



Alexandr 
Dolgopoplov

驚異の時速230kmサーブ 上位選手には脅威のラオニック

男子選手の場合、最近では身長が2m近い選手が多くなり、強烈なサーブを持っていても簡単には驚かなくなったが、それでも『やはり、サーブが強いとテニスでは有利だな』と改めて思われる選手が出てきた。それがカナダのラオニックだ。身長196cmのラオニックは、ゆったりとしたトスアップからは想像できないくらい、パワーとスピードのあるサーブを打ち込んでくる。そのスピードは実に時速230km。特に足を大きく曲げたり、上体を大きく反っているわけではないフォームから、これだけのサーブを打ち込んでくるのだから超人的な背筋力の特

使用ラケット
BLADE 98 BLX

ち主なのだろう。オーストラリアンオープンでは予選3回戦を勝ち上がると、本戦2回戦では第22シードのロドラ、3回戦では第10シードのユーズニーに勝利。サーブだけでなく、フォアもコートに打ち込んだボールがバックフェンスまで飛んでいくくらい威力があり、ボレーでとどめを刺していく。まだバックが発達中だが、3つのショットだけでグランドスラムの4回戦まで勝ち上がれるくらい、サーブとフォアの威力が半端ではないのだ。20歳と若く、これからどんどんグランドスラムでシード勢を苦しめる選手になっていくだろう。




Milos
Raonic

使用ラケット
BLADE 98 BLX Pink

男子選手並みに コートを広く使うマルチック

ファーストサーブから男子のように体を大きく反ってスピンスーブを打ち相手をコート外に追い出す。バック側にきたボールにも積極的に回り込んでスピンの効いた重いフォアで勝負していくというプレースタイルで戦うのが、マルチックだ。フォアを打つときに、少しお尻を突き出すような感じでボールをしっかり呼び込むフォームも男子選手のように、これはクレーコートの多いクローチアで育ったため自然と身に付いたのだろう。両手バックはフラットドライブ系だが片手バックでのスライスを交ぜたりと、色々な球種でコートを広く使おうという

意図が見えるので試合は見ている飽きない。昨年一時ランキングを63位まで上げたが、その後は1回戦負けが多くなり、今年のオーストラリアンオープンは予選からの出場。しかし、ハードヒットを繰り返す傾向の多い女子の中で、そうしてコートを広く使えるのはやはり武器で、予選を勝ち上がると本戦2回戦まで進出した。この手の選手は戦術や戦略を習得するまでに少し時間がかかるが、一度戦い方を覚えれば逆に簡単に負けなくなるのも事実。トップ30の常連になる可能性が高い、期待の19歳だ。



Petra
Martić

グランドスラムの優勝争いも可能?! 高いポテンシャルを持ったギョルゲス

180cmの恵まれた体格から繰り出すストロークは、スピニングがしっかり効きつつも、しなやかで伸びがあり、さらにコート内に入り込んでエースを狙いにいくときのフットワークが軽やか。かつて、フレンチオープンで優勝しランキングNo.1にもなった元女王イワノビッチの全盛期を彷彿とさせるプレースタイルなのが、ギョルゲスだ。初のグランドスラム出場は07年のUSオープンで、その後、昨年までに10度グランドスラムに出場しているが、最高成績は2回戦と大きなブレイクスルーはなかった。しか

使用ラケット
PRO OPEN BLX

し、プロツアー参戦後5年連続で確実にランキングを上げてきており、昨年はバドガステイン大会でWTAツアー初優勝、ルクセンブルク大会では準優勝。ゲームメイクがよければ自分のショットがツアーで十二分に通用することを自覚したようで、今年のオーストラリアンオープンでは初のグランドスラム3回戦進出。そこでは第16シードのシャラポワにフルセットで競り負けたが、サーブでも互角に渡り合っていたから、将来グランドスラムで優勝争いをしてもおかしくないポテンシャルを持っている。



Julia 
Goerges



MORE FEEL

圧倒的に勝ち 負けるときは大接戦で

昨年、最初のグランドスラム、オーストラリアンオープンで優勝し、男子史上最高を更新する16個目のグランドスラム・タイトルを手に入れ上々のスタートを切ったフェデラー。しかし、その後はマスターズ1000インディアンウェルズ大会で3回戦負け、マスターズ1000ローマ大会で2回戦負けとフェデラーらしくない早いラウンドで姿を消すことが多くなり、迎えたフレンチオープン準々決勝ではソダーリン(身長193cm)に、ウィンブルドン準々決勝ではベルディッチ(身長196cm)に敗退。

大型選手相手でも、早いタイミングで切り返して十分な体勢で打たせないうまさがあったフェデラーだが、このフレンチオープンやウィンブルドンのころにはそうした持ち味の展開力を出す前にパワーで押し込まれてしまうケースが目立っていた。そのため『フェデラー時代も終焉に向かい始めたか』という観測も流れたが、このウィンブルドン後、背中を痛めていたことが判明。だが、テニス選手にケガはつきもの。厳しいようだが、そうしたケガも含めて評価される世界なので、ナダル、ジョコビッチ、マレーなどの台頭もあり、この時点でもうすぐ29歳になろうとしていたフェデラーは、やはり下り坂に入ったと見

ることもできた。

しかし、『やはりフェデラーは強い』と改めて証明してみせたのが、ケガの休養明けの戦績。約2ヵ月の休養から復帰後すぐのマスターズ1000カナダ大会で優勝、続くマスターズ1000シンシナティ大会でも優勝。U.Sオープンでは準決勝でジョコビッチ、マスターズ1000上海大会では決勝でマレーに敗れたが、10月のストックホルム大会、11月の地元バーゼル大会で優勝。ロンドンの最終戦ではマレー、ジョコビッチ、ソダーリン、ナダルなど、同シーズン苦杯をなめさせられたメンバー相手に全勝し優勝。年末に向けて、かつての強いフェデラーが完全に戻っていたのだ。



ロジャー・フェデラー

Roger Federer



勝ち方と負け方から見えてくる フェデラーの強さ

2011年も ツアーの主役に

また、フェデラーが負けた試合も、その内容を詳細に見るとフルセットまでもつれているのが多いことがわかる。さらに、その最終セットもタイブレークや5-7、4-6というスコアが多い。つまり、最後まで相手にプレッシャーをかけての敗退なのだ。一般的にテニスでは、最終セットの最後の最後までどちらが勝つかかわらない、という状況になることは少ない。それは最終セットに入ったときにどちらかの選手が流れをつかむと、リードしたほうは勢いに乗り、逆にリードされたほうは気力、体力ともにトーンダウンしてしまうか

らだ。例えば、フェデラーがバーゼル大会決勝でジョコビッチにファイナルセットで勝ったときのスコアは6-1、最終戦決勝でナダルに勝ったときのファイナルセットのスコアも6-1。どちらもフェデラーがダウンした相手を突き放しての勝利だったことがわかる。それを考えると、フェデラーが負けるときは、簡単には相手に勝利を渡していない。フェデラーはプレー中に感情をあまり表には出さないため、どれくらいの闘志で戦っているのかわかりにくいのだが、最終セットの負けスコアがその執念の強さを表していると言えるだろう。

そのフェデラーは11年になっても好調で、初戦のドーハで優勝しオーストラリア

入り。コーチにサンプラスの元コーチだったポール・アナコンを招聘し今シーズンにかかる意気込みの高さもうかがえた。試合のほうは、2回戦でこれまで2戦全敗のシモンに2セットアップから2セットオールまで追いつかれる展開になったものの最終セットを6-3で振り切り勝利。これで勢いに乗り、3回戦はロブレド、4回戦はワウリンカを退け2年連続オーストラリアンオープン優勝まであと一歩だったが、準決勝でUSオープン準決勝でも負けているジョコビッチに敗退。ストレートでの負けだったが、各セットとも大接戦で簡単に勝利を渡さなかった。その意味では、まだまだフェデラーは男子ツアーの中心的選手として今年も活躍するはずだ。

MORE FEEL

ウイルソンのフラッグシップ。 全てをコントロールするために。

R. フェデラーが愛用するファミリー。「テニスの全てをコントロールしたい」というフェデラーの要求に応えたシリーズだ。1983年に生まれ、コナーズやエドバーク、サンプラスなどのトッププロに愛用された名器『プロスタッフ』の流れをくみ、2004年に新王者フェデラーを迎えるにあたってこの『SIX.ONE』シリーズは誕生。『n SIX.ONE』『K SIX.ONE』という進化を経て、『SIX.ONE BLX』が完成した。

特徴は、プレーヤーのテクニックを忠実に再現することを主眼に作られていること。そのため、ボールスピードやスピン(回転量)のコントロール性は群を抜く。強いボールが欲しいときは強く、柔らかいタッチが欲しいときにはしなやかに反応する。高速ショット、伸びるスライス、角度のあるアングルショットなど、まさにプレーヤーの無限の創造性を引き出す武器となっている。

手に伝わる感覚を大切に、強力なフラットドライブでコートを支配したい攻撃的な戦術家に最適なシリーズと言える。

R.FEDERER

M.FISH

T.C.BELLUCCI

A.DOLGPOLOV

G.DIMITROV

A.PETKOVIC

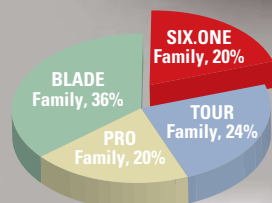
I.BENESOVA

C.S.NAVARO

SIX.ONE FAMILY

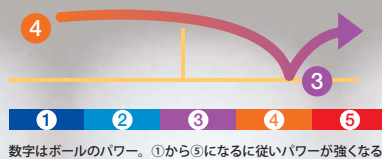
SIX.ONE TOUR BLX / SIX.ONE TOUR BLX US
SIX.ONE BLX 95 / SIX.ONE BLX 95 US

SIX.ONE FAMILY の使用率

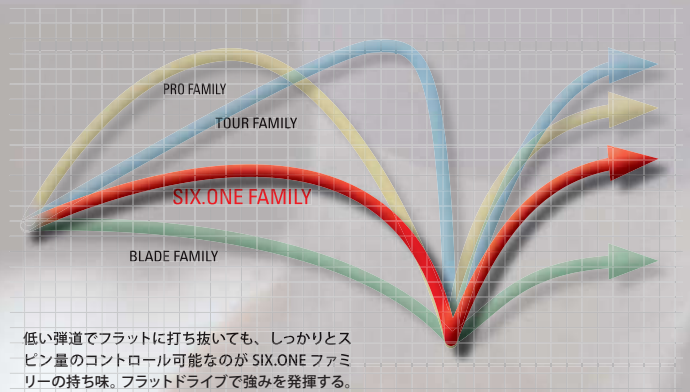


ウイルソン契約選手(ツアートップ100位以内)の中で、SIX.ONE FAMILYを使用している選手の割合。R. フェデラー、G. デイミトロフなど様々な球種を打ち分けるオールラウンドプレーヤーの使用率が高くなっている。

SIX.ONE FAMILY の弾道の強さ



SIX.ONE FAMILYの弾道イメージ



MORE FEEL Racket



CLASSIC HOLE

ロジャー・フェデラー選手の、「テニスにおける全てをコントロールする」というコンセプトから生まれたフィーリング重視モデル。「これぞ世界を制したラケット」と感じざるを得ないインプレッションは全てのプレーヤーをとりこにします。

SIX.ONE TOUR BLX 90

シックス・ワン・ツアー・ビー・エル・エックス 90

¥36,750 (本体価格 ¥35,000)

G2 : WRT7018202 G4 : WRT7018204
G3 : WRT7018203

- 素材：バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイブ
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：16×19
- 使用グリップ：PREMIUM LEATHER
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Champion's Choice	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積/長さ	90sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト/Av. バランス	319g / 31.5cm
フレーム厚	17mm	推奨(論正)テンション	48-58 (50-60)psi

[US SPEC]

- G2 : WRT7001202 / G3 : WRT7001203 / G4 : WRT7001204
 - Av. ウェイト 339g ● Av. バランス 30.5cm ● フルフラットケース
- その他のスペックは [JAPAN] に準じます。



裏

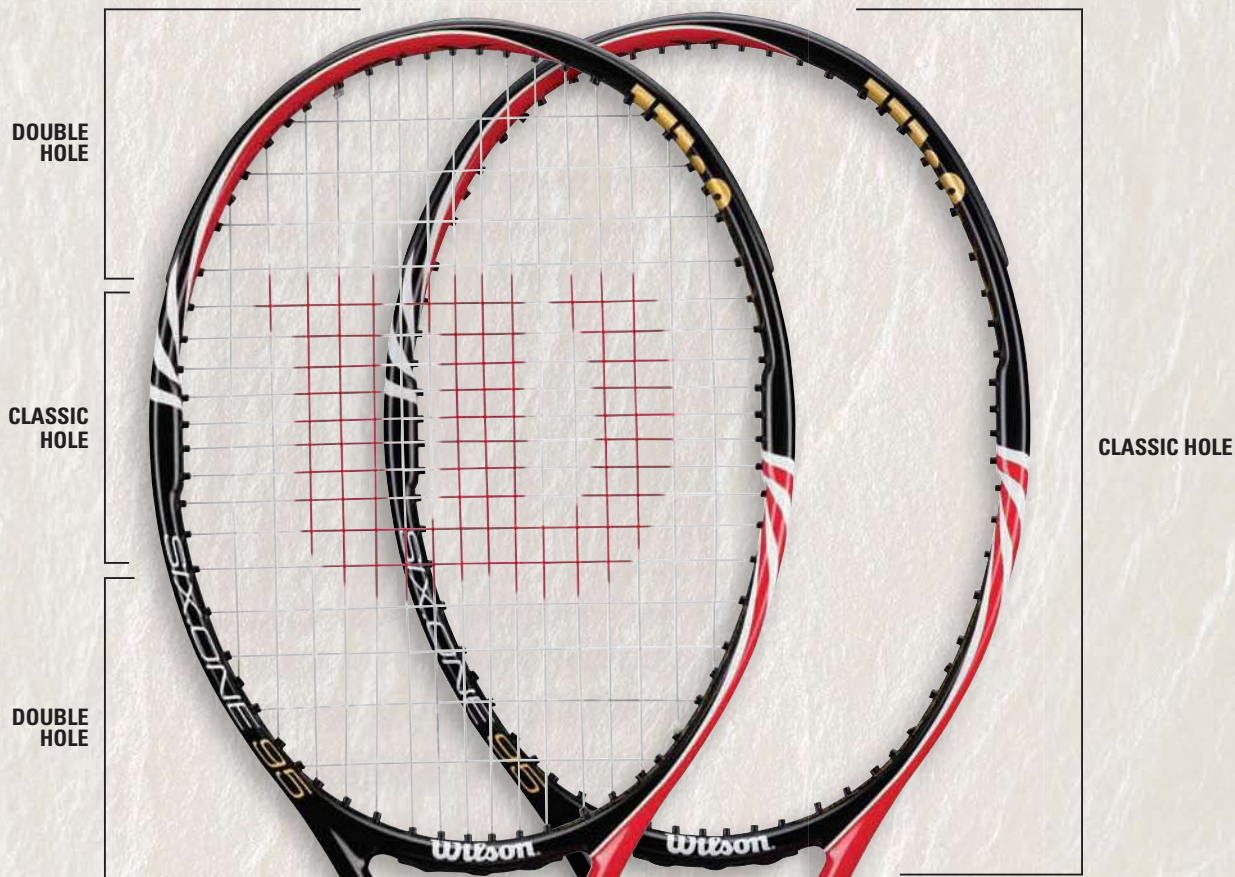
表



JAPAN

US

Racket MORE FEEL



裏 表 JAPAN



US

JAPAN

US

最も多くのツアープレイヤーに支持されるモデル。こだわり続けるそのフィードバックはバサルト・ファイバーによる正確な情報伝達性能を持つことで、「これは使える!」というインプレッションを与える至上最高の高みに到達したモデル。

SIX.ONE BLX 95

シックス・ワンビー・エル・エックス 95

¥34,650 (本体価格 ¥33,000)

G1 : WRT7019201 G3 : WRT7019203
G2 : WRT7019202 G4 : WRT7019204

- 素材：バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：16×18
- 使用グリップ：PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積 / レンズ	95sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	309g / 31.5cm
フレーム厚	22mm	推奨(適正)テンション	48-58 (50-60)lb

[US SPEC]

- G2 : WRT7003202 / G3 : WRT7003203 / G4 : WRT7003204
 - Av. ウェイト 332g ● Av. バランス 30.5cm ● フルラケットケース
- その他のスペックは「JAPAN」に準じます。

MORE BALANCE

強烈なパワーとスピン。 跳ねと伸びでストロークを制す。

錦織圭、J・エナン、伊藤竜馬などが愛用するファミリー。重量を抑える代わりに重心(バランス)をトップ寄りにセッティングすることで打ち負けない強さを有し、またラケットヘッドが自然にリリースされるのでパワーが出しやすいのがこのシリーズの特徴だ。

このシリーズの原型となっているのは、金槌のように小さな力で大きなエネルギーを生み出せる“ハンマーテクノロジー”を搭載した『プロファイル ハンマー』(1990年)。その後『ハイパー ハンマー』『Hツアー』『Nツアー』『NツアーII』『Kツアー』という進化をたどり、『TOUR BLX』が完成した。

また、パワーだけでなくスピン性能が高いのも大きな特徴。錦織圭が得意とする強烈なエッグボールで相手を押し込み、アングルに展開する光景は、このファミリーの真骨頂と言えるだろう。

ベースラインから攻撃的なボールを繰り出し、チャンスを作ってポイントを奪う。ボールのパワーで勝負したいストロークに最適なシリーズだ。

K.NISHIKORI

T.ITO

P.KVITOVA

E.MAKAROVA

S.ERRANI

B.MATTEK-SANDS

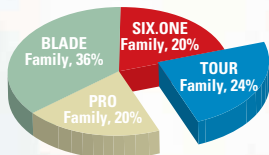
A.BONDARENKO

B.Z.STYCOVA

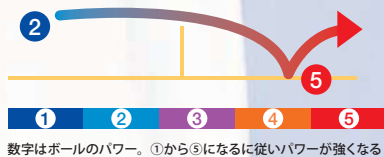
TOUR FAMILY

TOUR Limited BLX 95 / TOUR BLX 95 / TOUR BLX 105

TOUR FAMILYの使用率

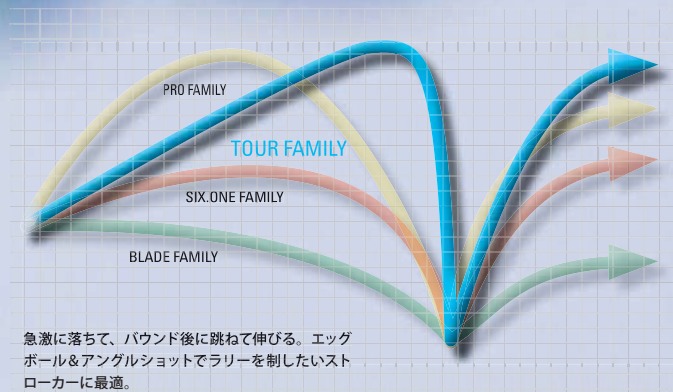


TOUR FAMILYの弾道の強さ



ウイルソン契約選手(ツアートップ100位以内)の中で、TOUR FAMILYを使用している選手の割合。錦織圭をはじめ、伊藤竜馬などよりラケットにパワー、スピン性能を求めるプレーヤーに使用者が多く見られる。

TOUR FAMILYの弾道イメージ



ジュスティーヌ・エナン

Justine Henin

栄光&挫折のストーリーと
ダイナミックな片手バックで
ファンに愛されたエナン

グランドスラム制覇7回。
2011年に2度目の引退

今年、年頭のオーストラリアンオープン3回戦でクズネツォワに敗れたあと、突然2度目の引退を発表したエナン。その理由は『ウィンブルドンで痛めた右ヒジは回復の見込みがない』と医者から診断されたから(エナン談)。「まだ栄冠を手にしていないウィンブルドンで優勝することが目標」と約2年ぶりに2010年からツアーに復帰し、オーストラリアンオープンでいきなり準優勝。テニスプレーヤーとして、またアスリートとして改めてポテンシャルの高さを見せたエナンが、その目標としていたウィンブルドンでのケガで2度目の引退を決意せざるをえなかったのは、非常に皮肉で残念としか言いようがない。

思えば、この2度目の引退宣言が突然だったのと同様、08年の1度目の引退も誰もが予想しない突然のことでテニス界には衝撃が走った。この08年は年頭のシドニー大会で優勝し、続くオーストラリアンオープンでもベスト8とまずまずのスタートを切ったエナンは、2月のアントワープ大会でも優勝。しかし、4連覇がかかっていたフレンチオープン前に「テニスに対する強い気持がなくなってしまった」と、突然引退。前年の07年はフレンチオープンとU.S.オープンで優勝していることから、まだまだグランドスラムでの優勝を積み重ねられる強さを持っていただけに、25歳での早すぎる引退はテニス界にとっては非常に残念な出来事だった。

そもそも、このエナンが注目を集め始めたのは01年。女子では珍しい片手バック、しかも体を弓のように使う男子顔負けのダイナミックなフォームから放つ切れのいい片手バックを武器にフレンチオープンでベスト4に入ると、続くウィンブルドンでは決勝進出。そしてグランドスラム初優勝は03年フレンチオープン。エナンは12歳のときに母親と初めてフレ

ンチオープンを見に来て、「私は絶対にここで優勝する」と母に誓っていたのだが、その母は95年に亡くなってしまったものの約束を果たし栄冠を手にしたのだ。エナンはその後、オーストラリアンオープン1回、フレンチオープン3回、U.S.オープン2回のタイトルを獲得し、03年10月にはランキングNo.1に。特に、06年は四大大会すべてで決勝に進出し、名実ともに女王の座に君臨することとなった。

アスリートとして高い能力を備えたファイター

しかし、そうした名誉の裏では数々の試練を乗り越えている。前述のとおり95年に母を亡くし、02年に結婚したものの07年に離婚。04年には呼吸器やウイルス性の病気、05年には右ヒザの骨折、右太もものケガ、06年は右肩、背中、右ヒザを故障、07年は喘息、手首のケガと数々の負傷を抱えての戦いだったのだ。これは167cm、57kgという女子テニス界で

は決して大きくない体を、限界まで追い込まなければ栄冠を手にはできなかったことにも要因があるのだろう。そうした栄光と挫折のストーリーを知っているからこそ、エナンの活躍はヨーロッパを中心に世界中のテニスファンに温かく見守られ、応援され人気もあった。

かつて女子テニスは、激しい男子テニスとは違い優雅なフォームで打つ選手がグランドスラムで活躍することが多かったが、グラフがハードヒットで相手を圧倒するスタイルを女子テニス界に持ち込んできた。エナンが2度目の引退をした今、エナンがプロ転向した98年から現在までを振り返ると、グラフが築いた礎の上にエナンがウィリアムズ姉妹と共に『グランドスラムで勝ち上がっていくには、ボールを打つのがうまいだけでなくアスリートとして高い能力が必要』という流れを作り出したと見ることもできる。エナンは記憶に残るとともに、そうした流れを変えるほどの偉大な選手だったのだ。

MORE
BALANCE



POWER HOLE



裏 表



「思い切ってコーナーを狙いたくなる」と言うインプレッションは、そのバランスとパワーホールがもたらす感覚。また打球感は「一瞬時間が止まったように感じる」ホールド感を実現しています。

TOUR LIMITED BLX 95

ツアー・リミテッド・ビー・エル・エックス 95
¥33,600 (本体価格 ¥32,000) G1: WRT7045201 G3: WRT7045203
 G2: WRT7045202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: デュアル・テイパー・ビーム ● スtring・パターン: 16×20
- 使用グリップ: PERFORMANCE HYBRID GRIP
- フルラケットサック ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	5 / Medium
フェイス面積 / レングス	95sq.inch / 27.5inch	Av. ウェイト / Av. バランス	297g / 32.5cm
フレーム厚	22-25-23mm	推奨(適正)テンション	45-55 (50-60)p

プレーの芯が
一段太くなった
錦織 圭!
今年はトップ30入りも
夢ではない!!

MORE
BALANCE



錦織 圭

Kei Nishikori

ケガから復帰し、 ランキングも回復！

小学生のときに全国小学生、全日本ジュニアU12、全国選抜ジュニアU12と同年代の選手で戦うタイトルを総なめにし、中学2年のときから親元を離れて単身アメリカ・フロリダのIMGアカデミー（ニック・ボロテリー・テニスアカデミー）でトレーニングしてきた錦織。当時、錦織本人は漠然と「プロになれるといいな」という考えでの渡米だったようだが、その後、アメリカやヨーロッパ各国を代表する同年代の選手と戦ううちに、そのプレーを見たテニス関係者から「すごい日本人のジュニアがいる」と評価されるようになり、その声を聞いて「本当にプロになれるかな」と自分でも思い始めたという。

その後07年にプロ転向し、翌08年にはATPツアー大会6戦目となるデルレイビーチ大会決勝でブレイクを破って優勝したこと、同年のUSオープンでは世界ランキング4位のフェレルに競り勝ちベスト16入りを決めた好成績を考えると、『どうしてプロになれるかどうか迷っていたのだろう』と不思議になる。しかし錦織が考えていた＜プロになる＞ということは、＜プロとして活躍し、現実的にトップを目指せる選手になる＞ということ。漠然と＜プロの世界に挑戦する＞とか＜自分の可能性を試したい＞という意識ではなく、ジュニアといえども世界各国での大会を通じ、テニスで生計を立て、さらにその世界で活躍することの厳しさを肌で感じてきたから、自ら入口の



ハードルを高く設定していたのだろう。

しかし、そうした覚悟を持って臨んでいたからこそ、日本人としては92年にソウル大会で優勝した松岡修造以来のATPツアー優勝を成し遂げ、USオープン・ベスト16入りという、現在ATPツアーのトップで活躍する選手の18歳のときに劣らない戦績を残すことができたのだ。また、そうした強い気持があったからこそ、09年序盤に右ヒジを痛め、その後8月に手術を受けたため、約1年間試合に出られないというつらい状況も克服できたのだろう。

その錦織が本格的にツアー復帰したのが、2010年の4月。ランキングを失っていたため、ATPツアー下部のチャレンジャー大会からのスタートとなったが、もともとテニスの質が高い錦織にとってやはり通過点にすぎなかったようで、2010年はチャレンジャー4大会で優勝。また、得意とするUSオープンでは予選を勝ち上がり、2回戦では世界ランキング13位のチリッチを4時間59分の熱戦の末下し3回戦に進出。他にフレンオープンでは2回戦でジョコビッチと対戦、ウィンブルドンでは1回戦でナダルと対戦するなど（どちらも敗退）、戦う相手の名前もビッグネームが多くなってきた。

今年の目標はトップ50入り

そうして迎えた今年11年。年頭のチェンナイ大会で、大会3連覇を目指していたチリッチをUSオープンに続き再び下すとベスト8まで進出。続く、オーストラリアンオープンも3回戦まで進出し、錦織本人も「いいスタートを切れた」と

言うように、今年目標とする年末でのトップ50入りが非常に現実味を帯びてきて、さらにトップ30入りも夢ではない状況になってきた。

このいいスタートの裏には、ひと言で表せないさまざまな要因があるのだが、錦織は「新しくコーチになってもらった、ブラッド・ギルバートの影響が大きい」と話している。かつてアガシやロディックのコーチを務め、その2人ともグランドスラム優勝に導いている名コーチ・ギルバートは「基本的だけれど大切なことを、改めて認識させてくれた」という影響を錦織に与えているようだ。その錦織の言葉どおり、オーストラリアンオープンでの錦織のプレーは、これまでのスピン量を微妙に調節してコートを広く使った見ている楽しい展開そのままに、簡単にはミスしない頼もしさがあった。本人も「安定したミスの少ないプレーになり、それでいてフォアで攻めるテニスができるようになった」とプレーの芯が太くなったことを自覚しているようだ。

この錦織が愛用しているラケットが『TOUR BLX 95』。絶妙にヘッド寄りにあるバランスが、スピンをかけつつもボールにスピードとパワーを与え、コートを広く使ったコントロールでテニスを組み立てる錦織のプレーをサポートしている。また、最近、サーブのスピードが目に見えて速くなったことも、トップウエイト気味の『TOUR BLX 95』が一役買っているはずだ。このままケガなどに悩まされることなく11年シーズンを戦い抜けば、年末には目標のトップ50を突破し、トップ30入りも夢ではないはずだ。



伊藤竜馬 Tatsuma Ito

MORE BALANCE

『TOUR BLX 105』を相棒に ドラゴンショットで グランドスラム出場を狙う

低い弾道で跳ねずに伸びる “ドラゴンショット”

プロテニスプレーヤーは、個性が際立っているほど、それが自らの武器となり、ひいては相手へのプレッシャーともなり、戦績につながっていく。逆にそうした個性がなければ、さまざまなタイプの選手が集う世界のプロの中では勝ち上がっていくことができず、それがこれまで日本の男子選手がほとんどグランドスラムで活躍できてこなかった一因でもあるだろう。

すべての基準が『世界』で測られてしまうテニスにおいて、そうした独自の武器を国内の大会だけで習得していくのが難しいことは、残念ながらこれまでの日本人選手の結果が証明している。しかし、相手コートに突き刺さるような爆発力のあるフォア『ドラゴンショット』を武器に、高校3年の時に外国人選手が多数出場するジャパンオープン・ジュニアで優勝し、初の海外遠征となったUSオープン・ジュニアでは予選を勝ち上がり本戦2回戦まで進出したのが、伊藤竜馬だ。伊藤は、全国中学生大会準優勝、インターハイ準優勝と国内ジュニアではトップクラスの戦績を持っていたが、海外大会への出場経験がなかったため、これまでの日本人男子ジュニアの例では予選1回戦で負けてもまったく不思議ではなかった。しかし、日本で培ってきた、低い弾道でバウンド後あまり跳ねずに伸びていく“ドラゴンショット”は、海外の経験豊富な選手にも通用したのだ。

その後、高校を卒業する少し前にプロ転向を果たした伊藤は、08年には全日本選手権で準優勝、2010年はチャレンジャー大会で2勝し、アジア大会では銅メダルを獲得するなど、着実にランキングを上げてきている。

点で攻められる 『TOUR BLX 105』で躍進を狙う！

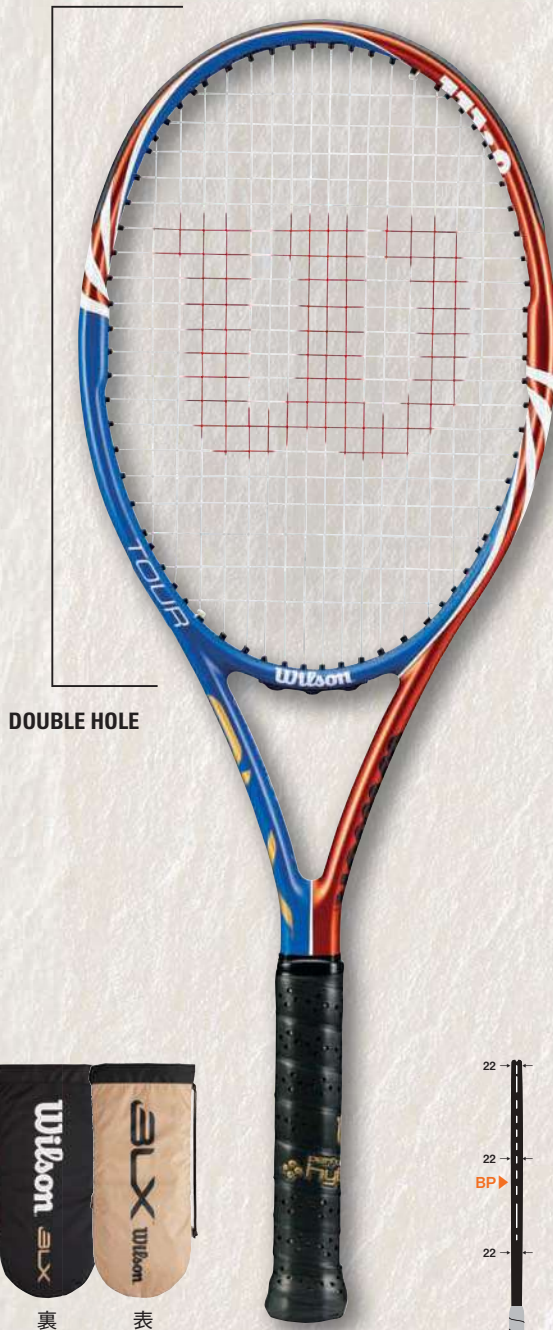
そして「USオープンのころには本戦ストレートインできるぐらいのランキングに上げたい」という目標で迎えた2011年、伊藤はテニスプレーヤーがいちばんこだわりを持つラケットを、ウイルソンの『TOUR BLX 105』に変えてスタートを切った。伊藤は2010年後半から、数メーカーのラケットを試打していたようなのだが、その中から選んだのがウイルソンのラケットだったのだ。その理由を「これまではボールにあまりスピンをかけずコースを“線”で狙っていたのですが、さらに上のレベルで戦っていくには、もっと細かく“点”で狙っていく必要があります。そのためにはボールにスピン回転をかけて“点”に落としていく必要があるのですが、ウイルソンのラケットがそうした僕が求めている軌道のショットを打つのにピッタリだったんです」と語る。特に『TOUR BLX 105』には、「今までだとアウトになるようなボールも、スピがかかって最後に落ちて入ってくれます。僕が得意とするドラゴンショットの威力はそのまま、相手に攻め込まれたときやラリー中にもう少し粘

りが出てくると思います」と、絶大な信頼を寄せている。

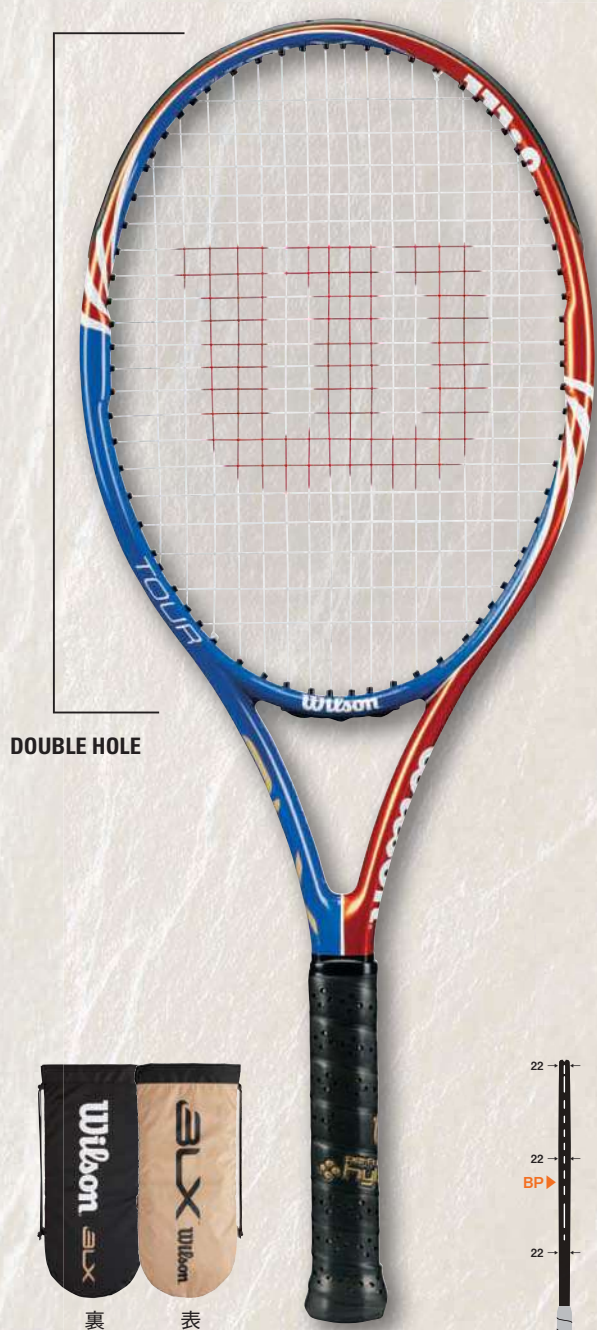
2011年のスタートはブリスベン大会で予選を2回勝ち上がり予選決勝まで進出したが、そこで敗退。続くオーストラリアンオープン予選は1回戦で負けたものの、この2つの敗戦はどちらもフルセットを戦ってのもの。負けたものの自分の力が着実に上がってきているのは実感しているようで、「自分の可能性がだんだんわかってきたというか、『本当に行ける』と思うようになってきました。ラケットをウイルソンに変えたことで、ドロップショットを打ったり、アングルを狙ったりとバリエーションが豊かになりゲームの展開が増えると思うので、まだまだ頑張ることができます」と頼もしい。

伊藤竜馬が魅力あるドラゴンショットを武器に、目標であるUSオープンでのグランドスラム・デビューを飾ってくれることを願わずにはられない。





DOUBLE HOLE



DOUBLE HOLE

錦織圭選手のために開発されたモデル。新素材バサルト・ファイバーが、このラケットが持つ大きなパワーによる衝撃を軽減させ、プレーヤーのパワーとコントロールを強力にバックアップします。

TOUR BLX 95

ツアー・ビー・エル・エックス 95

¥34,650 (本体価格 ¥33,000)

G1: WRT7006201 G3: WRT7006203
G2: WRT7006202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: フラット・ビーム
- スtring・パターン: 16×20
- 使用グリップ: PERFORMANCE HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Kei's Choice	Swing Index/Power Level	5 / Medium
フェイス面積 / レングス	95sq.inch / 27.25inch	Av. ウェイト / Av. バランス	289g / 34.0cm
フレーム厚	22mm	推奨 (適正) テンション	45-55 (53-63)p

伊藤竜馬が世界に挑むために選んだモデル。対戦相手に「ボールが重い」というインプレッションを与える。その高い完成度はプレーヤーのレベルを問わず、ゲームで必要とされるパワー&コントロールを実現します。

TOUR BLX 105

ツアー・ビー・エル・エックス 105

¥34,650 (本体価格 ¥33,000)

G1: WRT7027201 G3: WRT7027203
G2: WRT7027202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: フラット・ビーム
- String・パターン: 16×20
- 使用グリップ: PERFORMANCE HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	5 / Medium
フェイス面積 / レングス	105sq.inch / 27.25inch	Av. ウェイト / Av. バランス	279g / 34.0cm
フレーム厚	22mm	推奨 (適正) テンション	45-55 (53-63)p

SPECIAL INTERVIEW

「テニスの王子様」の作者である許斐剛氏と、リアル“テニスの王子様”錦織圭。マンガの世界と現実の世界の王子対談が実現した。

マンガを読んだ子供たちがプロになって対談するのが夢だったんです - 許斐-

今でも「テニスの王子様」のショットを真似して使っています(笑) - 錦織-



テニスコミックの革命作「テニスの王子様」。週刊少年ジャンプ連載時のカラーも収録した完全版 Season1全12巻(集英社刊)が発売中です。完全版 Season2も4月5日に刊行スタート。また、ジャンプSQ.(集英社刊)で続編「新テニスの王子様」が好評連載中です。

— 錦織選手は「テニスの王子様」を読んだことがありますか？

錦織：もちろんです。最近では読んでいないですけど、小さい頃は結構読んでいました。

許斐：うれしいなー。錦織君には、確か第一回のアニメに出てもらったよね。

錦織：そうですね。最後のところで。

許斐：名前が珍しかったから、覚えていました。「ニシコリ・ケイです、世界で通用する選手になりたいです」って、11歳か12歳ぐらいのときに言っていて、それで顔も覚えていて、アニメが終わって何年か経ってから錦織君がすごい注目を浴びるようになって、“あ、この子知ってる”って思ったんですよ。

錦織：あの頃は「テニスの王子様」を見て、絶対無理なのは分かっていたんですが、“このショット打ちたい”って思っていました(笑)。ボール回しとか、このショットが打てたらテニスがもっと楽しくなるんだろうなど。正直、真似して使っていたショットもあります。

許斐：本当に!? どのショット？

錦織：片足のスプリットステップです。そのときから使い始めて、今でもたまに使っていますよ。

許斐：すごいなー。光栄です。

錦織：僕はアプローチの時じゃなくて、レシーブ、リターンの時に片足でスプリットステップを踏んでいるんです。ボールがどっちに来ても対応できるので、すごい有効なんですよ。

許斐：マイケル・チャンとかがやっていたんですよ。あれは、天性の洞察力がないと動けないはずですよ。

錦織：「テニスの王子様」から学んだものは、たくさんありますよ。

許斐：日本人が世界を舞台にテニスで活躍できるってすごいことだと思います。リアルテニスの王子様ですよ。

錦織：そう言ってくれただくと、嬉しいですよ。

許斐：「テニスの王子様」のキャラクターだと、誰が好きですか？

錦織：やっぱり越前リョーマが好きですね。名前を忘れてしまったんですが、飛んでボレーしたり、アクロバティックなプレーをする選手も好きでした。

許斐：菊丸ですね。

錦織：そうですね。ああいうプレーをしたっていう願望もあって、そこまでは難しいけど、見ていて面白いですよ。

許斐：大きな大会でもやっぱり魅せるプレーを意識していますか？

錦織：自然にやっぺりますね。試合に勝つことも大事だけど、僕は飽きっぽい性格なので、自分でも楽しみたいです。

許斐：やっぱり大物ですね。なかなか言えるセ

リフじゃないと思うんですよ。グランドスラムみたいな大舞台なんて、普通ガチガチになってしまうと思うんですが、そんな中で楽しみたいなんて。そうゆう資質があると、本来その選手が持っている能力を発揮したテニスができるんですよ。

錦織：自分のテニスの最終的な目標というか夢は、会場を魅了する選手になる、というところにあるんです。

許斐：一度でいいから、錦織選手のショットを受けたいですね。たぶん、サーブなんてまったく触れもできないと思いますけど(笑)。でも、「テニスの王子様」を描き始めて、マンガを読んで育ててくれた子どもたちがプロになって対談するのが夢だったので、今日は本当にうれしいです。

錦織：僕も今日お会いできてうれしいです。



「テニスの王子様」作者

許斐 剛

Takeshi Konomi

リアル“テニスの王子様”

錦織 圭

Kei Nishikori

MORE POWER

ずっしり感たっぷりのヘビーボール。 攻守のバランスに長けたオールマイティモデル。

パワーとコントロールを高い次元で有し、男子プレーヤーから女子プレーヤーまで幅広く支持されているプロ・ファミリー。攻撃時には重いショットをコーナーにコントロールでき、守備時には持ち前のパワーで刺し込まれても深くボールを運ぶことができるのが大きな特徴だ。

最大のメリットは、フレーム自体にパワーがあること。しかも押さえが効くので、プレーヤーにとっては自分の意図する弾道で、よりパワーのあるショットをコンスタントに打ち続けることができる。

サーブ、ストローク時はもちろん、ボレーにおいてもパンチ力が発揮される。まさにオールラウンドにプレーヤーをアシストしてくれるシリーズと言える。しかもBLXテクノロジーによって打球感がリアルにプレーヤーへと伝達されるため、ボールを押し出しつつもスピンを掛けるという、絶妙なボールを打つことが可能だ。

重さ、コントロール、スピンの高バランスが攻守ともに生き、プレーヤーの強い味方となる、そんなシリーズに仕上がっている。

M.LLODRA

F.LOPEZ

D.BRANDS

K.KANEPI

L.SAFAROVA

J.GROTH

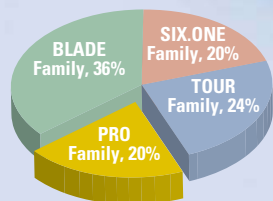
J.GOERGES

K.ZAKOPALOVA

PRO FAMILY

PRO TOUR BLX 96 / PRO OPEN BLX 100 /
PRO LITE BLX 102 / PRO COBRA BLX 100

PRO FAMILYの使用率

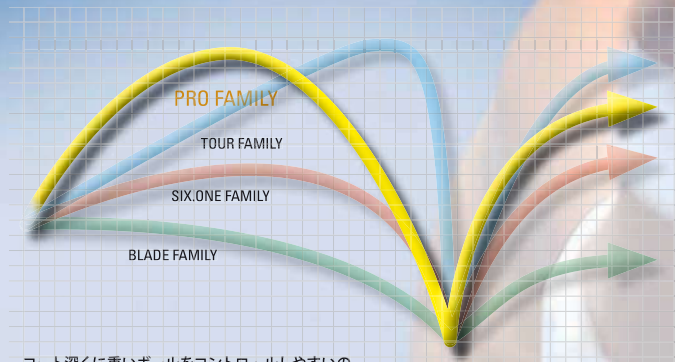


Wilson契約選手（ツアートップ100位以内）の中で、PRO FAMILYを使用している選手の割合。オールマイティなファミリーなだけに、技巧派のプレーヤーからパワーを捕いたい女性プレーヤーまで使用選手の幅も広いのが特徴だ。

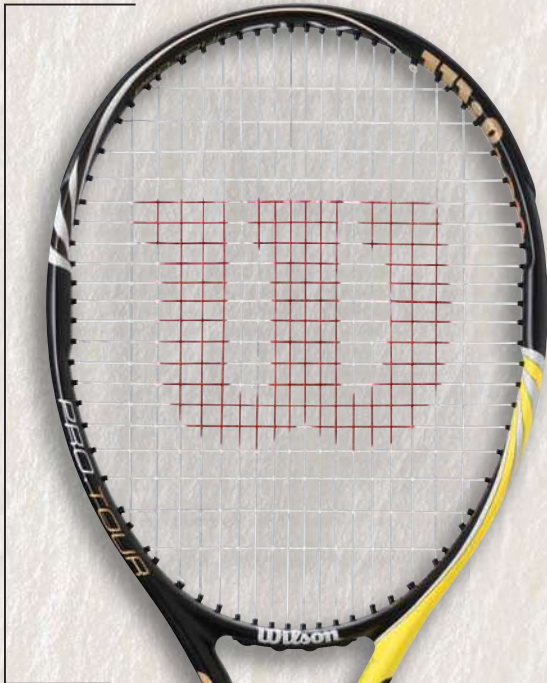
PRO FAMILYの弾道の強さ



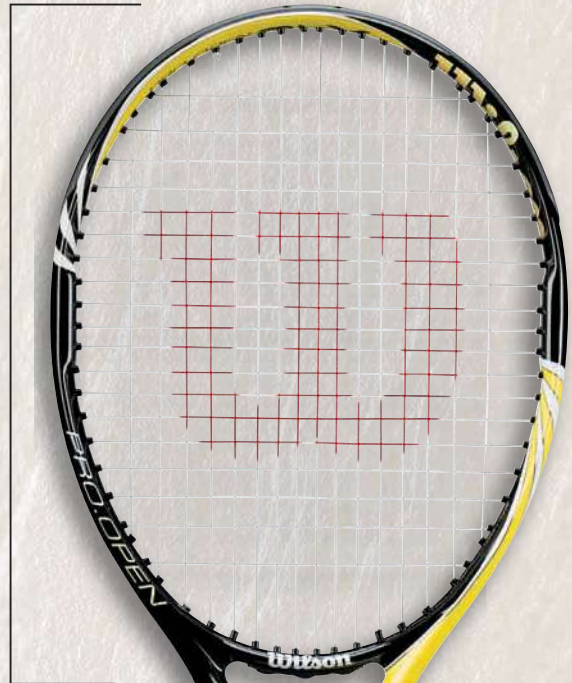
PRO FAMILYの弾道イメージ



MOORE POWER Racket



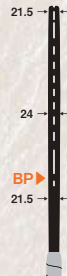
CLASSIC HOLE



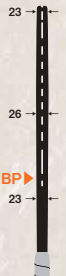
DOUBLE HOLE



裏 表



裏 表



「しなりを感じ、それでいて飛び出しが強い」とインプレッションを与えるのは、こだわりの21.5-24.0-21.5mm フレーム。ファン・マルティン・デルポト選手が、その爆発力をコントロールするために選んだモデル。

PRO TOUR BLX 96

プロ・ツアー・ビー・エル・エックス 96

¥34,650 (本体価格 ¥33,000) G2: WRT7010202 G4: WRT7010204
G3: WRT7010203

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: デュアル・テイバー・ビーム ● スtring・パターン: 18×20
- 使用グリップ: PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積/レングス	96sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	314g / 31.0cm
フレーム厚	21.5-24-21.5mm	推奨(適正)テンション	48-58 (50-60)p

F・ロベス、L・サファロバなど、多くのツアー選手に支持される黄金スペック。「どんな時も心強いサポート力を感じる」と言わせるインプレッションは、バサルト・ファイバーによる正確な打球情報伝達性能によるもの。

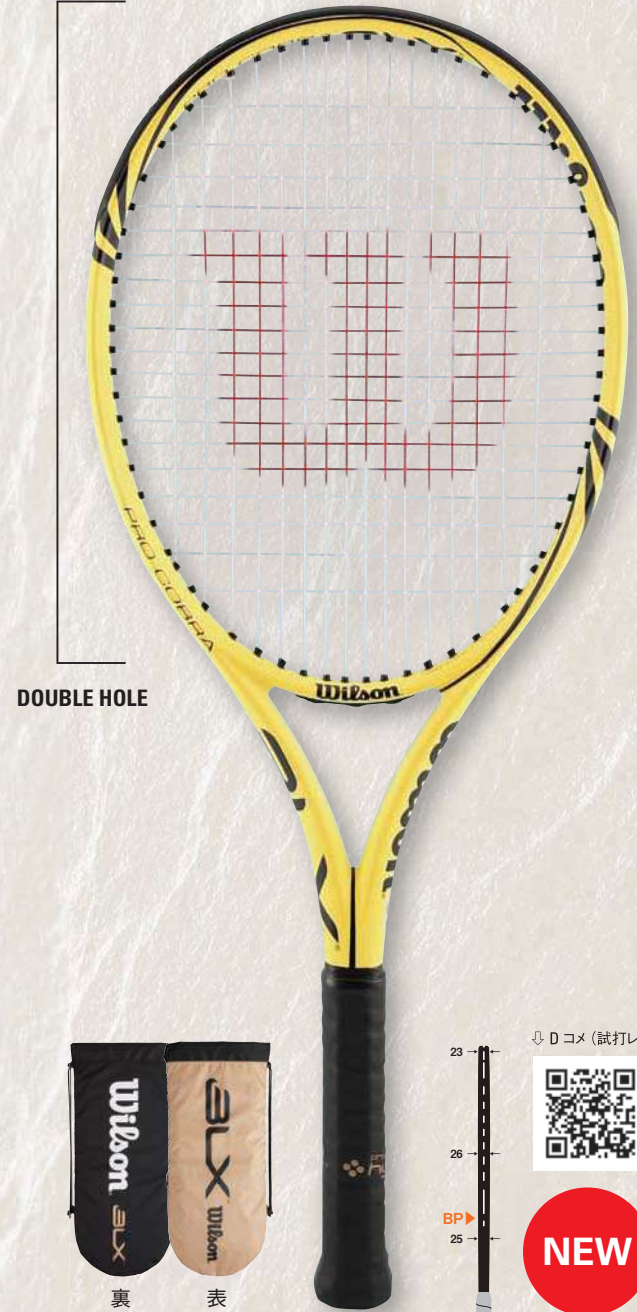
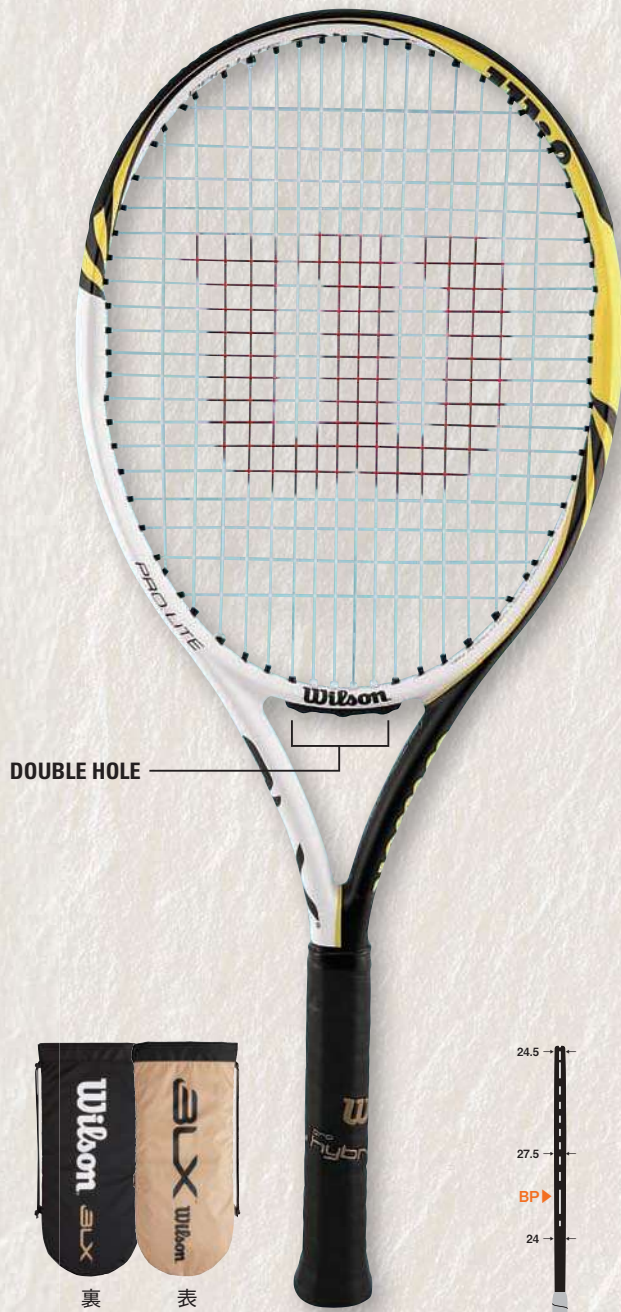
PRO OPEN BLX 100

プロ・オープン・ビー・エル・エックス 100

¥33,600 (本体価格 ¥32,000) G1: WRT7011201 G3: WRT7011203
G2: WRT7011202

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: デュアル・テイバー・ビーム ● String・パターン: 16×19
- 使用グリップ: PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積/レングス	100sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	299g / 32.0cm
フレーム厚	23-26-23mm	推奨(適正)テンション	48-58 (53-63)p



PRO Family の中で最も操作性能を高めたモデル。単なる軽量バージョンではなく、プレーヤーに「力がなくてもボールが重くなる」というインプレッションを与え、テニスをよりアグレッシブにします。

PRO LITE BLX 102

プロ・ライト・ビー・エル・エックス 102
¥29,400 (本体価格 ¥28,000) G1: WRT7065201 G3: WRT7065203
 G2: WRT7065202

- 素材：バサルト・ファイバー+カーボファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状：デュアル・テイバー・ビーム ● スtring・パターン：16×19
- 使用グリップ：PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積/レングス	102sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	255g / 33.1cm
フレーム厚	24.5-27.5-24mm	推奨(適正)テンション	45-55 (53-63)p

PRO Family の中で最もスピン性能に特化したモデル。クロスストリングスを長くした形状、空気抵抗を軽減させるフレームは「つついスピンを多用してしまう」というインプレッションを抱かせるモデル。

PRO COBRA BLX 100

プロ・コブラ・ビー・エル・エックス 100
¥33,600 (本体価格 ¥32,000) G2: WRT7066202
 G3: WRT7066203

- 素材：バサルト・ファイバー+カーボファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状：デュアル・テイバー・ビーム ● String・パターン：16×19
- 使用グリップ：PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積/レングス	100sq.inch / 27.25inch	Av. ウェイト / Av. バランス	304g / 31.5cm
フレーム厚	23-26-25mm	推奨(適正)テンション	48-58 (53-63)p

MORE SPEED

ピンポイントに高速で打ち抜く。 感性に応える超攻撃型モデル。

長年女子テニス界のトップに君臨するウイリアムズ姉妹をはじめ、E・グルビスやS・シルステアなど新進気鋭のニューカマーなど、ウイルソンのラケットを使用するプロ選手のうち、約4割が使用しているのがこのブレード・ファミリー。

構造的には、楕円とフラットビームの特性が混在したくまぼこ型の断面に、フレーム部とシャフト部でひねった“エックス・ループ”と呼ばれるフレーム形状を採用。フレームの正確な『ひねり』とシャフトの『しなり』により、『うねり』のパワーを発生させる。フェイス面がしっかりボールを捕らえ、しなりを感じさせるフレームがそれを飛ばしていくという、まさにプレーヤーの感性に訴えかけるラケットだ。使い手の持つ力を最大限に引き出し、思うがままにボールコントロールできる、そんなシリーズになっている。

特にフラットに打ち抜いたときは強烈な破壊力を発揮し、同時にピンポイントに射抜くコントロール性を発揮する。高速系ショットで相手をくぎ付けにする、そんな超攻撃型のプレーヤーに最適なモデルと言えよう。

E.GULBIS

P.PETZSCHNER

M.KUKUSHKIN

M.RAONIC

V.WILLIAMS

S.WILLIAMS

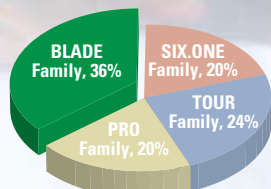
F.PENNETTA

A.SZAVAY

BLADE FAMILY

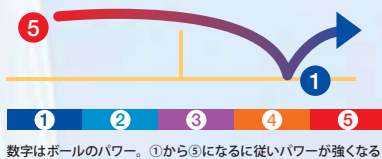
BLADE TOUR BLX 93 / BLADE 98 BLX /
BLADE 98 BLX Pink / BLADE TEAM BLX 104 /
BLADE LITE BLX 100 / BLADE LITE BLX 100 Pink

BLADE FAMILYの使用率

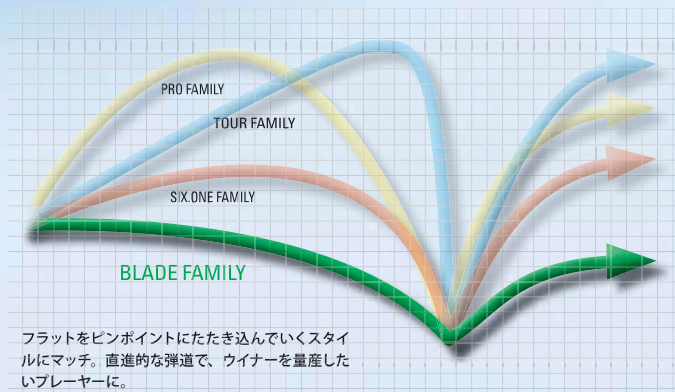


ウイルソン契約選手(ツアートップ100位以内)の中で、BLADE FAMILYを使用している選手の割合。4ファミリーの中で最も使用者数が高く、パワーのあるプレーヤーの使用率が高い。自らのパワーを生かせ、コントロール性も高いところが支持されている。

BLADE FAMILYの弾道の強さ



BLADE FAMILYの弾道イメージ



MORE SPEED Racket



X-LOOP

↓ D コメ (試打レポート)



NEW

BLADE Family の中で最もパワーヒッターに適したモデル。「スイートスポットでのフィーリングは格別」と言わしめるスペックは、プレーヤーをサポートする機能を搭載しないことで、プレーヤーの意図を忠実に再現します。

BLADE TOUR BLX 93

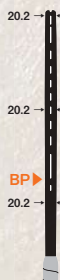
ブレイド・ツアー・ビー・エル・エックス 93

¥36,750 (本体価格 ¥35,000)

G2 : WRT7060202 G4 : WRT7060204
G3 : WRT7060203

- 素材：バサルト・ファイバー+カポファイト・ブラック+グラファイト
- フレーム形状：フラット・ビーム
- 使用グリップ：PREMIUM LEATHER
- フルラケットサック
- スtring・パターン：18×20
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積 / レングス	93sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	324g / 31.0cm
フレーム厚	20.2mm	推奨 (適正) テンション	48-58 (50-60) p



裏 表

アーネスト・グルビス

Ernestas Gulbis

テニスというのは、走攻守でバランスのいい選手が強い。トーナメントで勝ち上がっていく選手は、バランスがいいため取りこぼしが少なく、接戦になった試合もものにしていける。しかし、そのようにバランスのとれた選手の試合運びは、見る側にとっては時としてつまらないときがある。ミスがなく、アップダウンすることなく試合が進んでいくので、じっくり見なければ試合にアクセントがないからだ。

その意味では、グルビスの試合は見応え十分だ。グルビスはトップ10並みのサーブとフォアを持っているのだが、バックにそこまでの強みはない。また、攻めているときは滅法強いのだが、相手に攻められると粘るということほとんどしない。つまり、3~4球までにポイントが決まる流れだとグルビスに主導権があるのだが、ラリーがそれ以上続き始めると、相手がゲームの流れを支配してしまうのだ。

07年のフレンチオープンでグランドスラムデビュー＆初勝利を飾り2回戦進出したあと、U S オープンではベスト16、翌

年のフレンチオープンでベスト8に入る快進撃を見せながらも、その後は1~2回戦で負けが続いているのは、ラリーを続けられれば自滅してくれるとツアー選手の間で分析され始めたからだろう。

そのグルビスは、今年からウイルソン・チームに仲間入りし、2010年の年末ランキング24位からさらにステップアップするための相棒として選んだのは『BLADE 98 BLX』。このラケットを選んだことで、スイングスピードなどのパワーを生かしながらコントロール性を高めていこうとする狙いを垣間見ることができる。そのせいか、11年最初のドーハ大会でベスト8、続くシドニー大会でベスト4とまずまずのスタートを切った。切れ味鋭いショット同様、歯に衣着せぬコメントで記者からも人気のあるグルビス。何かキッカケがあれば、あっという間にトップ10入りする可能性は十分にある。

超攻撃テニスに
ステディさを加えトップを狙う

MORE SPEED



シングルスでもダブルスでも強い
エキサイティング・ペンネッタ

09年8月に女子イタリア選手としては初のWTA ランキングトップ10入りを果たしたペンネッタ。ボールに体のパワーをぶつけて、しっかりスピンをかけてスイングしていくストロークはパンチ力があり、女子選手の中でもトップクラスのパワーと安定感がある。

そしてペンネッタのもう一つの魅力が、その力強いショットで積極的に厳しいコースを狙っていくこと。迷ったときほど闘志を前面に出してプレーするので、見ているほうも自然と力が入ってしまうエキサイティングな試合運びをするのだ。また、いつの間にかネットにスルスルと出てきてボレーを決めるなど、ソツがない面も持ち合わせている。これは、ダブルスにも出場しているからこそその展開だろう。ペン

ネッタはそのダブルスでも、昨年は最終戦のチャンピオンシップスのダブルスで優勝(ペアはドゥルコ)、06年U S オープン・ダブルス準優勝と実績を残している。

他に注目すべき点は、昨年シングルス101試合、ダブルス26試合に出場し、この合計127試合は昨年の子では最多の年間出場だったこと。それだけ出場しても大きな故障がないのは、もともと体が丈夫なこと、しっかりトレーニングを積んでいるからだろう。第25シードが付いた年頭のオーストラリアでは、3回戦で第10シードのピアーを下し初の4回戦進出を決めるなど、まずまずのスタートを切った。2月29日には29歳になるが、もう一度トップ10に返り咲く日が来るかもしれない。

フラビア・ペンネッタ

Flavia Pennetta

MORE SPEED Racket



DOUBLE HOLE

DOUBLE HOLE

X-LOOP

📄 D コメ (試打レポート)



BLADE Familyの中で最もパワーとコントロールをバランスよく発揮するモデル。「しなりがパワーに変換されるのを感じる」「ボールが伸びるのを感じる」というインプレッションは、正確な“ひねり”と“しなり”が生み出しています。

BLADE 98 BLX

ブレード 98 ビー・エル・エックス

¥33,600 (本体価格 ¥32,000)

G2 : WRT7061202 G4 : WRT7061204
G3 : WRT7061203

- 素材 : バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状 : フラット・ビーム
- 使用グリップ : PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- スtring・パターン : 18×20
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積 / レングス	98sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	304g / 32.5cm
フレーム厚	21mm	推奨(適正)テンション	48-58 (50-60)psi

[PINK SPEC]

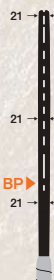
- G2 : WRT7062202 / G3 : WRT7062203

その他のスペックは [GOLD] に準じます。



裏

表



GOLD

PINK



MORE SPEED

セリーナ・ウィリアムズ

ヴィーナス・ウィリアムズ

Serena Williams

Venus Williams

29歳セリーナ&30歳ヴィーナス! グランドスラムにかける熱き闘志!

フレンチオープンから翌年のオーストラリアンオープンまで、グランドスラム4大会連続でウィリアムズ姉妹の決勝戦となったのは、02年から03年にかけて(すべて妹のセリーナが勝利)。それから8年、いまだに彼女たちのテニスはパワフルで、華麗なフットワークでボールに追いつくスタイルは健在だが、姉のヴィーナスは30歳、セリーナは29歳。女子ツアー選手の中では『大』の付くベテラン選手になったのだから、厳しいツアーを回っているとケガによる故障に見舞われるのもしょうがないことだ。

特に昨年は、姉妹そろってケガに見舞われた。姉のヴィーナスは、左ヒザの炎症のため、ウィンブルドン後に出場したのは地元アメリカのUSオープンだけ。妹のセリーナにいたっては、オーストラリアンオープン後に左ヒザをケガして約3ヵ月ツアーから離れ、ウィンブルドン後はレストランのグラスで右足をケガしたためUSオープンの出場を断念。その後9月から練習を再開したが、復帰を焦って厳しいトレーニングを積んだため、今度は右足靭帯を断裂

し手術。2人とも満身創痍なのだ。

それでも驚かされるのは、セリーナは昨年グランドスラム3大会を含めた6大会しか出場していないにもかかわらず、オーストラリアンオープンとウィンブルドンで優勝し(フレンチオープンはベスト8)、年末ランキングを4位で締めくくったこと。この傾向は姉のヴィーナスにも共通していて、こちらは出場9大会ながら5位でフィニッシュ。1位のウォズニアッキが22試合、2位のズボナレワが19試合とウィリアムズ姉妹の2~3倍の大会数に出たのランキングだから、どれだけウィリアムズ姉妹が強いか分かるだろう。

特にこの姉妹のグランドスラムへのモチベーションは高く、ヴィーナスはケガから完全に回復していなかったがUSオープンに出場。10年のグランドスラム大会中最高となるベスト4をマークしている。そして妹のセリーナは、出場した3つのグランドスラム中2つを制覇。ランキングを上げるためにはコンスタントに数多くの大会で上位に入る必要があるのだが、ウィリアムズ姉妹の動

向を見ていると、グランドスラムにプライオリティーを置き、その結果ランキングが付いてきているのがわかる。グランドスラムで優勝するには7回の勝利が必要で、これは他のどの大会よりも厳しいことを考えると、ケガの中、これだけの成績を残すのはやはり飛び抜けた実力を持っているからだろう。また、2人は自らがパワーを持っているにもかかわらず、パワーのあるラケットを好んで使用していることも、長丁場のグランドスラムでは助けになっているはずだ。今年から新たに使用を開始する『BLADE TEAM BLX』も、フレームは22mmとそれほど厚くないが、パワーホールが付いているためラケット自体が持つパワーは大きい。

そして迎えた11年シーズン最初のグランドスラム、オーストラリアンオープン。妹セリーナは回復が間に合わず欠場し、姉ヴィーナスは2回戦でザホラボワとフルセットの接戦を演じたため骨盤周辺の筋肉に疲れがたまり、3回戦を途中棄権という残念な結果に終わってしまったが、これまでのことを考えると春から夏にかけてのグランドスラムには照準を合わせてくるはず。特に長期の戦線離脱から戻ってくるセリーナが、どのような戦いをするかで、女子の勢力図はガラリと変わるはずだ。

MORE SPEED Racket



DOUBLE HOLE

POWER HOLE

DOUBLE HOLE

X-LOOP

↓ D コマ (試打レポート)



BLADE Family の中で最もパワーを備えたモデル。ラウンド型フェイスとパワーホールがボールに回転を与え、「速いボールでありながら、深さも自在にコントロールできる」というインプレッションを与えます。最強ウィリアムズ姉妹の攻撃テニスが可能にしています。

BLADE TEAM BLX 104

ブレイド・チーム・ビー・エル・エックス 104

¥31,500 (本体価格 ¥30,000)

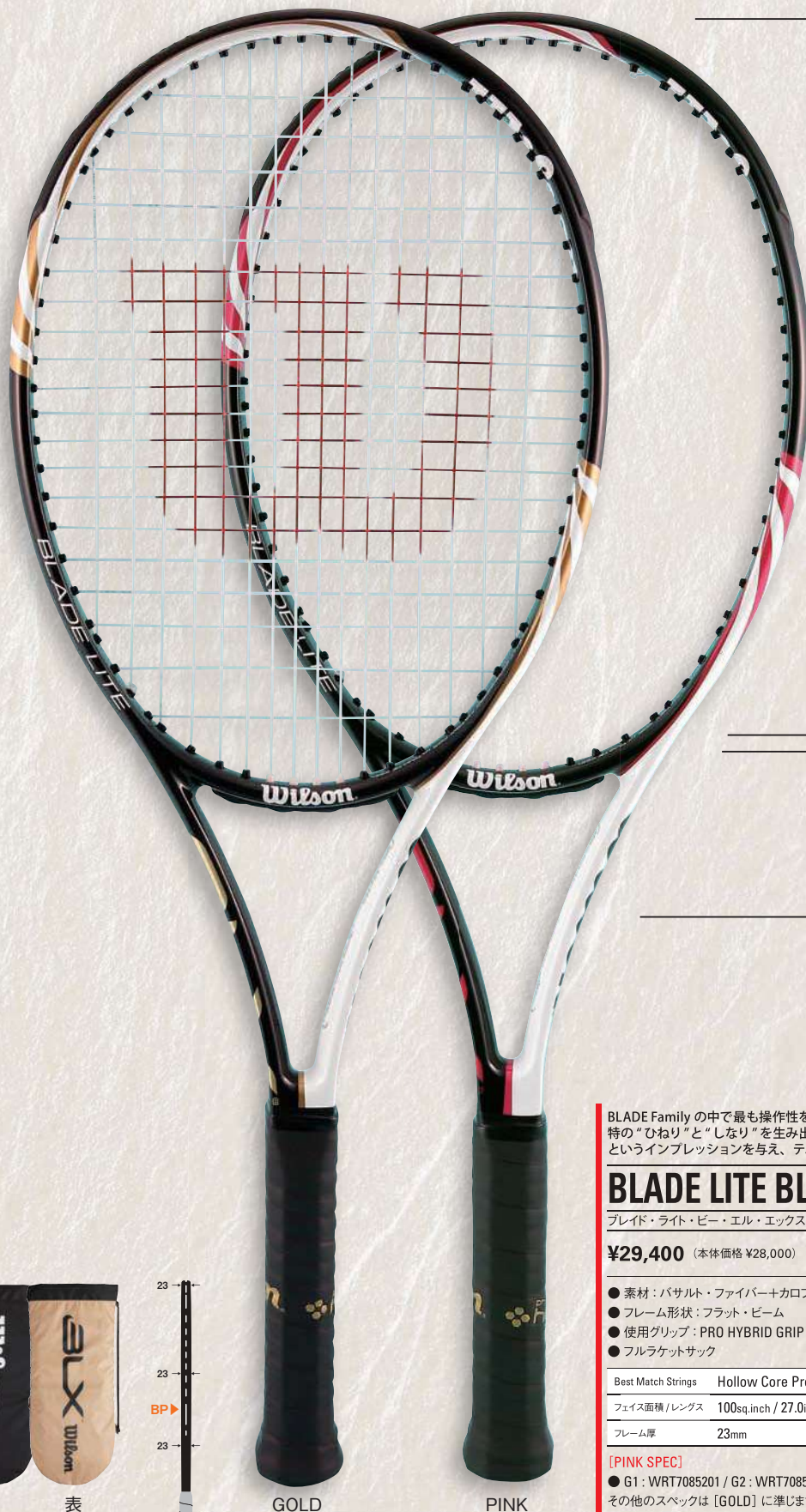
G2: WRT7063202
G3: WRT7063203

- 素材: バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状: フラット・ビーム
- 使用グリップ: PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- スtring・パターン: 18×19
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	NXT CONTROL	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積 / レングス	104sq.inch / 27.5inch	Av. ウェイト / Av. バランス	289g / 32.5cm
フレーム厚	22mm	推奨(適正)テンション	45-55 (53-63)P



RACKET MORE SPEED



DOUBLE HOLE

X-LOOP

QRコード (試打レポート)



NEW

BLADE Familyの中で最も操作性を高めたモデル。軽量でありながら BLADE 独自の“ひねり”と“しなり”を生み出すことで、「スウィングと打球が加速していく」というインプレッションを与え、テニスをより攻撃的にします。

BLADE LITE BLX 100

フレイド・ライト・ビー・エル・エックス 100

¥29,400 (本体価格 ¥28,000)

G1 : WRT7064201

G2 : WRT7064202

- 素材 : バサルト・ファイバー+カーボファイブ・ブラック+グラファイト
- フレーム形状 : フラット・ビーム
- スtring・パターン : 16×20
- 使用グリップ : PRO HYBRID GRIP
- フルラケットサック
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	Hollow Core Pro 17	Swing Index/Power Level	6 / Low
フェイス面積 / レングス	100sq.inch / 27.0inch	Av. ウェイト / Av. バランス	272g / 33.0cm
フレーム厚	23mm	推奨(適正)テンション	45-55 (53-63)psi

[PINK SPEC]

- G1 : WRT7085201 / G2 : WRT7085202

その他のスペックは [GOLD] に準じます。



裏

表



GOLD

PINK

世界で 輝くために

杉山記一 × 宮崎優実

亜細亜大学時代の08年に春の関東学生で優勝し、続く夏のインカレでベスト4、冬のインカレでは準優勝するなど目覚ましい戦績を挙げ、09年プロに転向した宮崎優実。プロの世界で戦うために2010年にはギアをウイルソンに変更。そしてその夏、更なる躍進を果たすため杉山記一をコーチに迎えることとなった。二人三脚で走り始めた二人が描くビジョンとは？



—お二人はどのような経緯でコーチ契約を結ばれたのですか？

宮崎：プロに転向してから一人で戦っていたのですが、自分だけだと戦術から試合の組み方まで全部自分で解決しなければならず、そこで出した自分の答えが本当にあるのか分からない状況に陥ってしまっ…試合に集中しなければいけないのに迷いを抱えたまま試合に入っていくことが多く、それでは最高のプレーができないと思い、世界を舞台に戦ってこられた杉山さんにコーチをお願いしました。

杉山：宮崎さんを最初にコーチングしたとき、フォアの強さに驚きました。世界で戦うには、フォアの強さは絶対に必要。それに、どんな厳しい練習の後でも「もう一本お願いします」と言ってくる気持の強さも持っています。それを見て、この子は絶対グランドスラムに行けると思いましたね。

宮崎：私が杉山さんにコーチをお願いした理由の一つに、杉山さんの「1ポイントに対しての気持の強さ」というのがあります。やはりスペインでプレーなさっている



ので、しっかりゲームを組み立て、徹底的にポイントを奪うためにゲームメイクをしていく。杉山さんにコーチングしていただくようになって、チャレンジの幅が広がりました。“こうゆう攻め方もあるんだ”という発見が、いつもあります。

杉山：ステップアップするために、どれだけチャレンジしていけるか、これがトッププロを目指すうえで最も大事なことではないでしょうか。それと、プロの厳しい世界で戦っていく覚悟、これをしっかり持っているかが必要です。

宮崎：覚悟はできています。やはり自分には負けたくないのです。厳しい状況で自分を乗り越えていくことこそ、プロに必要な資質だと思っています。

—お二人のこれからの目標を教えてください。

宮崎：グランドスラムに出場することです。2011年は一万ドルの大会で優勝、もしくは少なくともベスト4にコンスタントに入るようにし、二万五千ドルや五万ドルでベスト4以上に進出し、ランキングを上げていくのが目標です。

杉山：少なくとも3年後のグランドスラムまでには、予選を突破し、本戦に出場できるレベルまで持って行きたいと思っています。毎日毎日の練習、毎月の目標、半年後の目標に向かって、一回一回の練習目標を明確にし、成果も明確にしていく。この積み重ねしか、グランドスラムで勝つ選手になる道はないと思っています。



ウイルソンアドバイザースタッフ

杉山 記一 (橋本総業所属)

すぎやま・のりかず。1977年7月29日生まれ。柳川高→早稲田大卒。2008年プロ引退。引退後は早稲田大学院に進学し、スポーツ科学論を学ぶ。日本ランキング最高3位(ATP)。

ウイルソンプレイヤー

宮崎 優実 (ASIA PARTNERSHIP 所属)

みやざき・ゆうみ。1986年10月31日生まれ。亜細亜大卒。08年全日本選手権ベスト16、春季関東学生優勝、全日本学生ベスト4、全日本学生室内準優勝。



宮崎優実公式ブログ — YouMe —

http://www.tennis-navi.jp/blog/yuumi_miyazaki/

Junior Racket



通常ラケットに最も近いスペックを持つ
26inch。プレーヤーを目指すなら。

Jr. SIX.ONE BLX 26

シックス・ワン・ビー・エル・エックス 26

オープンブライズ WTR530000

- 素材：バサルト・ファイバー+グラファイト+グラスファイバー
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：16×20
- 使用グリップ：TL Grip
- フルラケットケース
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	100sq.inch / 26.0inch
フレーム厚	23mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 252g / 34.8cm
推奨(適正)テンション	35-45 (50-60)p

※ストラング(張り上げ)時のスペック



バランスの良いパワーと操作性を持つ
25inch モデル。

Jr. SIX.ONE BLX 25

シックス・ワン・ビー・エル・エックス 25

オープンブライズ WRT546800

- 素材：グラファイト+アルミ・コンポジット
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：16×18
- 使用グリップ：TL Grip
- フルラケットケース
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	100sq.inch / 25.0inch
フレーム厚	23mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 248g / 30.5cm
推奨(適正)テンション	35-45 (44-54)p

※ストラング(張り上げ)時のスペック



扱いやすい26inch モデル。錦織選手の
TOUR BLX 95を体感するスペック。

Jr. TOUR BLX 26

ツアー・ビー・エル・エックス 26

オープンブライズ WRT530400

- 素材：バサルト・ファイバー+グラファイト
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：18×20
- 使用グリップ：TL Grip
- フルラケットケース
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	98sq.inch / 26.0inch
フレーム厚	20.6mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 240g / 33.5cm
推奨(適正)テンション	35-45 (50-60)p

※ストラング(張り上げ)時のスペック



上級生にも負けないパワーを生み出す、
Jr 向け25inch モデル。

Jr. TOUR BLX 25

ツアー・ビー・エル・エックス 25

オープンブライズ WRT530500

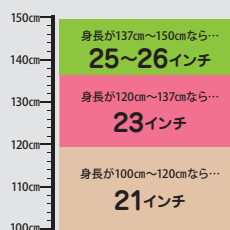
- 素材：バサルト・ファイバー+グラファイト
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：18×20
- 使用グリップ：TL Grip
- フルラケットケース
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	98sq.inch / 25.0inch
フレーム厚	20.6mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 235g / 32.0cm
推奨(適正)テンション	35-45 (50-60)p

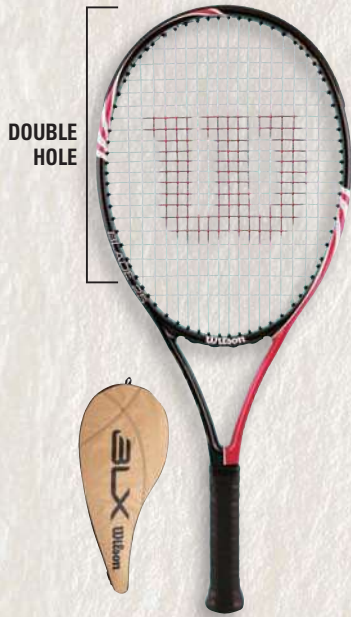
※ストラング(張り上げ)時のスペック

君のラケットサイズは？

身長に合わせてラケットのサイズを選んでください。
きっと君にとって最適のラケットが見つかるでしょう。



Junior Racket



DOUBLE HOLE

NEW

ダブル・ホールを搭載した、Jr向けハイスペックモデル。

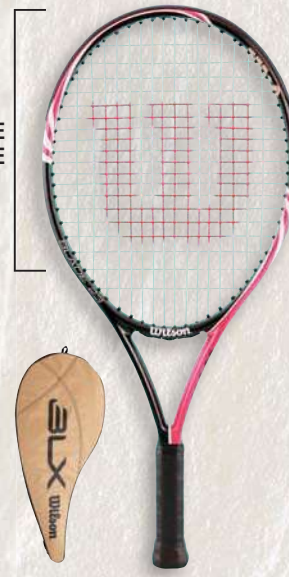
Jr. BLADE 25 BLX

ブレイド 25・ビー・エル・エックス

オープンブライズ WRT531000

- 素材：バサルト・ファイバー+グラファイト
- フレーム形状：フラット・ビーム
- スtring・パターン：18×20
- 使用グリップ：TL Grip
- フラケットケース
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	98sq.inch / 25.0inch
フレーム厚	21mm
Av. ウェイト / Av. バランス	219g / 30.5cm
推奨 (適正) テンション	35-45 (50-60)psi



DOUBLE HOLE

NEW

マイルドな打球感を引き出すダブル・ホールと軽量感が初心者 Jr に最適。

Jr. BLADE 23 BLX

ブレイド 23・ビー・エル・エックス

オープンブライズ WRT531100

- 素材：グラファイト+アルミ・コンポジット
- フレーム形状：フラット・ビーム
- String・パターン：16×19
- 使用グリップ：TL Grip
- フラケットケース
- MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	93sq.inch / 23.0inch
フレーム厚	21mm
Av. ウェイト / Av. バランス	199g / 27.0cm
推奨 (適正) テンション	35-45 (50-60)psi

Jr. ROGER FEDERER 23

ロジャー・フェデラー 23

オープンブライズ WRT228200

- 素材：アルミニウム
※通常のボールはご使用いただけません。
- フレーム形状：フラット・ビーム
- String・パターン：16×17
- 使用グリップ：GS Grip
- ハーフラケットケース ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	95sq.inch / 23.0inch
フレーム厚	19mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 205g / 28.5cm

※ストラング (張り上げ) 時のスペック



Jr. ROGER FEDERER 21

ロジャー・フェデラー 21

オープンブライズ WRT228100

- 素材：アルミニウム
※通常のボールはご使用いただけません。
- フレーム形状：フラット・ビーム
- String・パターン：16×17
- 使用グリップ：GS Grip
- ハーフラケットケース ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	95inch / 21.0inch
フレーム厚	19mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 180g / 26.0cm

※ストラング (張り上げ) 時のスペック



Jr. ROGER FEDERER 19

ロジャー・フェデラー 19

オープンブライズ WRT228000

- 素材：アルミニウム
※通常のボールはご使用いただけません。
- フレーム形状：フラット・ビーム
- String・パターン：16×15
- 使用グリップ：GS Grip
- ハーフラケットケース ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	80sq.inch / 19.0inch
フレーム厚	19mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 175g / 23.5cm

※ストラング (張り上げ) 時のスペック



Jr. BEAR RACKET SET

ベア・ラケット・セット

¥6,510 (本体価格 ¥6,200) WRT6164E

- 素材：アルミニウム (2本入り)
※ロー・プレッシャー・ボール 2球付
- フレーム形状：フラット・ビーム
- String・パターン：16×17
- 使用グリップ：SYNTEC
- フラケットケース ● MADE IN CHINA

Best Match Strings	張り上がり
フェイス面積 / レングス	90sq.inch / 21.0inch
フレーム厚	18.5mm
Av. ウェイト / Av. バランス	※ 175g / 25.5cm

※ストラング (張り上げ) 時のスペック

“張りの技術”でも世界をリード ストリングングの匠、ウイルソン

世界最高峰の技術が認められたメーカーのみが務める、グランドスラムのオフィシャル・ストリンガー。ウイルソンはグランドスラム4大会のうち、オーストラリアンオープンとU S オープンの2大会でその大役を務めている。つまり、ストリングング分野でもテニス界をリードしているメーカーとしてウイルソンは広く認められているのだ。

Wilson MORE WIN.



OFFICIAL BALL SINCE 1978

USオープン、オーストラリアンオープンの オフィシャルストリンガー・ウイルソン

ウイルソンがオフィシャルを務めているUSオープンとオーストラリアンオープンは、ほかのグランドスラム(ウインブルドンとフレンチオープン)と異なり、ナイター設備が整っているので試合が行われている時間が長く、張り替えの本数もけた違いに多い。今年のオーストラリアンオープンでは、実に3236本の張り替えを実施。さらに5セットマッチのグランドスラムでは試合中に張り替えの依頼が入ることも多く、その張り替えには高いクオリティを保ちながら、相当のスピードが要求される。ウイルソンチームがその張り替えにかかる時間は、平均でわずか17分。ウイルソンは、ストリングングの技術でも世界をけん引するリーディングメーカーなのだ。

トップ選手の7割が
ルキシロン&ウイルソンを使用! (※)

2011年オーストラリアンオープンでの選手ストリングデータ

選手名	ストリング (MAINS/CROSSES)	ポンド数
R. フェデラー	Wilson Natural Gut/ Luxilon Alu Power Rough	50/46
M・フィッシュ	Wilson Natural Gut/ Luxilon Timo	52.0
E. グルビス	Luxilon Alu Power/ Luxilon Alu Power	60/57
V・ウイリアムズ	Wilson Natural Gut/ Wilson Natural Gut	68.0
F・ベンネッタ	Luxilon Alu Power/ Wilson Natural Gut	58.4
P・クビトワ	Luxilon Alu Power/ Luxilon Alu Power	57/53

※ 2011年2月28日現在におけるATP ツアートップ10選手が、オーストラリアンオープンで使用したストリングの実績より。

OFFICIAL STRINGER FOR
2 OUT OF 4 GRAND SLAM



The Grand Slam of Asia/Pacific

匠の技を生かすストリングマシン “バイアルド”

その“ストリングの匠”であるチームウイルソンが使用しているのが、ウイルソンのストリングマシン『バイアルド』。従来のマシンでは不可能だった、ストリンガーの身長や好みに合わせたセッティングができるため、操作性が高くストリングングの効率を大幅に高めることが可能となった。

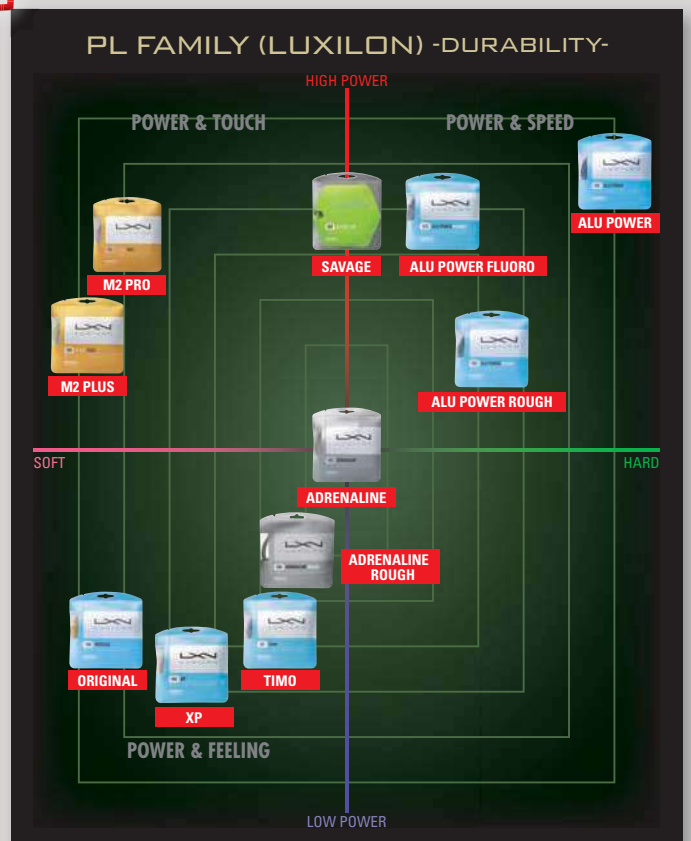
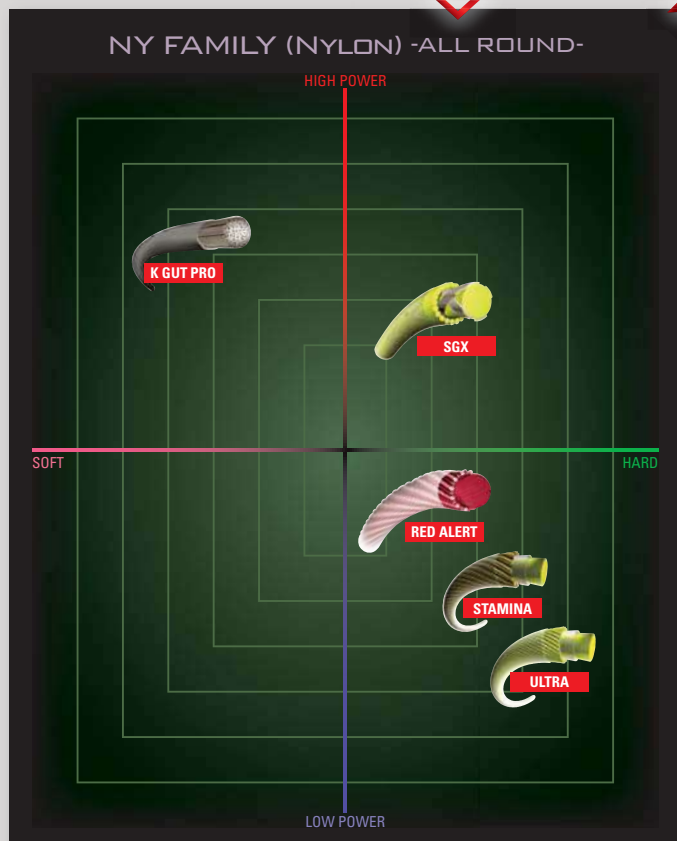
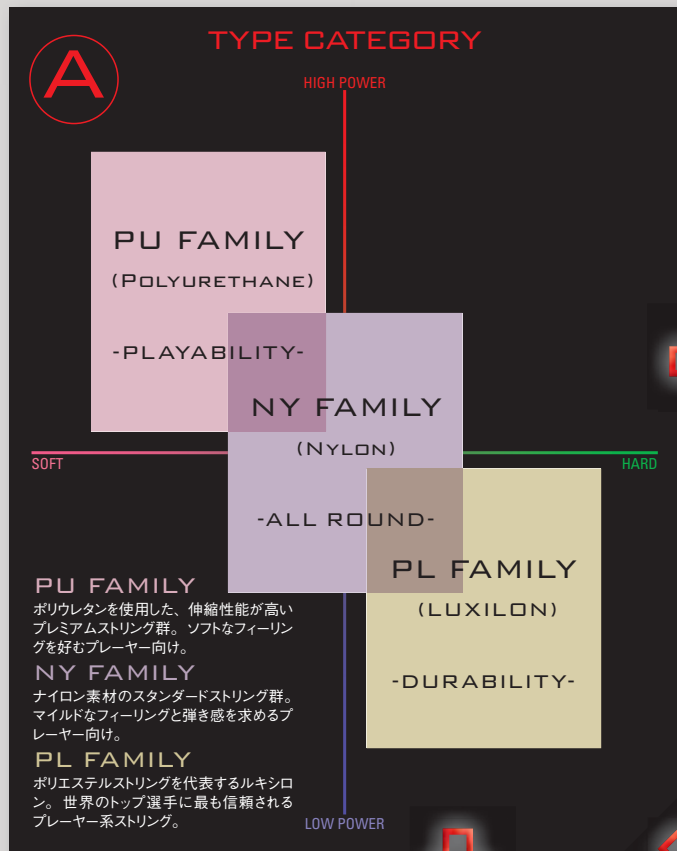
朝6時半ぐらいから夜中2時ごろまで張り続けることも珍しくないグランドスラムにおいて、これまでストリンガーたちは極度の疲労に悩まされていたが、ストリングマシンが『バイアルド』になってからは、「長時間張っても、集中を持続できる」と作業効率がアップ。匠の技を、さらにストリングングに生かせるようになった。

テニスメーカーNo.1を誇示するウイルソンは、ストリングマシンの開発でも高い技術を誇っているのだ。



STRING CHART

<MAPの見方> ①カテゴリー MAP (A) で打球感重視 (PLAYABILITY)、オールラウンドモデル (ALL ROUND)、耐久性&パワー (DURABILITY) のファミリーをお選びください。
 ②お選びいただいたファミリー内で更に、打球感の横軸とパワー量の縦軸に沿って、ベストなストリングをお選びください。



ツアー No.1ブランド 「ルキシロン」が放つ ニューストリングとは？

1959年の創業以来、50余年に及ぶ歴史を誇るルキシロン。創業者は、今回インタビューを行ったニコ氏の父親で、元々はナイロン系の繊維を取り扱う総合商社としてスタートした。その後、繊維を束ねた電線やワイヤーを自社で商品化するようになり、さらに、得意分野である繊維技術をもとに、息子であるニコ氏が愛好するテニスに結び付けて、新たにストリングの分野に進出したのは1987年のことだった。

ナチュラルを中心に、ナイロン系ストリングが主流だった当時、革新的なポリエステル・ストリングで登場したルキシロン。記念すべき初の商品となった「オリジナル」を皮切りに、1992年には「アル・パワー」を発売。同年には、当時無名だったグスタボ・クエルテンが「オリジナル」を張ってフレンチオープンに優勝したことで、ルキシロンの名前とストリングとしての実力の高さは、一躍、世界に知れ渡ることとなった。

その後、2010年のUSオープンでは、男子の出場選手のうち、実に約90%がルキシロンを使用したという事実でもわかるように、今やルキシロンはその信頼と実績を確立し、広く一般の愛好家に選ばれるブランドとしても、その地位を築き上げたのだ。

そして迎えた2011年。ルキシロンは「アドレナリン」の追加モデルと、まったく新しい「サベージ」というアイテムをラインナップに加えた。それらは、いったいどんなストリングなのだろう？ 早速、ニコ・ヴァン・マルデレン社長に聞いてみた。

—まず、新たなバリエーションが追加されたという『アドレナリン』について教えてください。

マルデレン氏 オールラウンドプレーヤーに向けて開発した『アドレナリン』には、新たにゲージ1.10mmと、「ROUGH」という2つのモデルを追加しました。今回、特に力を注いだのは、素材として採用したリキッド・クリスタライン・ポリマーです。これは、通常のポリエステルと比べて、製造時の品質ムラが皆無なのが特徴です。また天候等、環境の変化によ

INTERVIEW

ルキシロン社長

ニコ・ヴァン・マルデレン氏